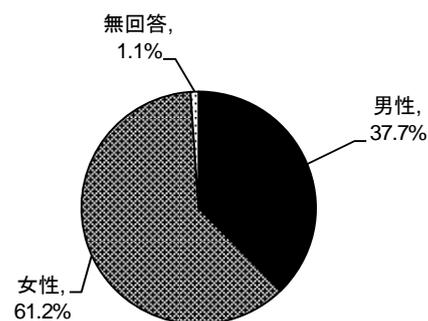


第2章 調査結果

1 回答者の属性

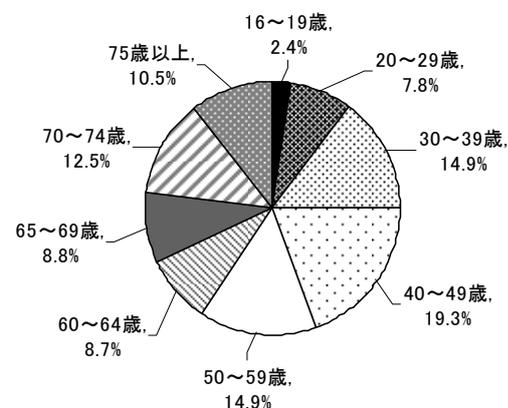
(1) 性別

○回答者の性別は、男性が 37.7%，女性が 61.2%であり、女性が男性を 23.5 ポイント上回っています。



(2) 年齢層

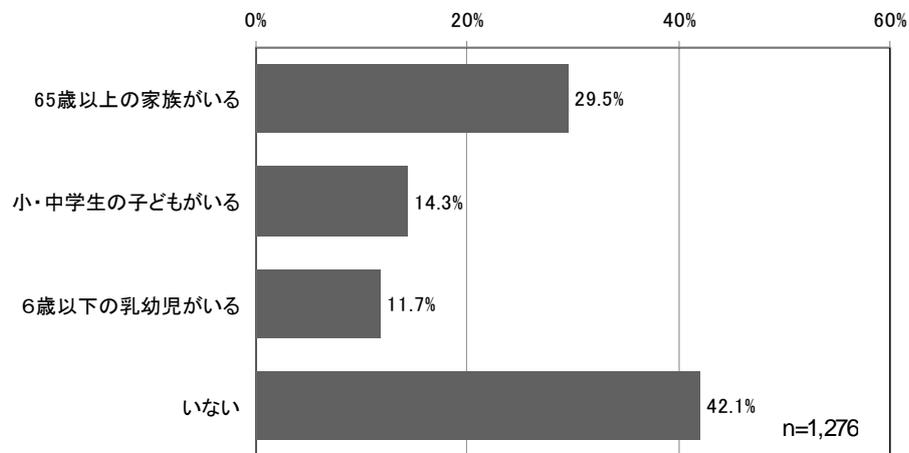
○回答者を年齢層別に見ると、40 歳代が 19.3%，30 歳代と 50 歳代が 14.9%，70 歳代が 12.5%の順で多くなっています。



(3) 子ども又は高齢者の同居の有無

○回答者が同居する中学生以下の子ども又は 65 歳以上の高齢者は、「いない」が 42.1%で最も多く、次いで「65 歳以上の家族がいる」の 29.5%の順となっています。

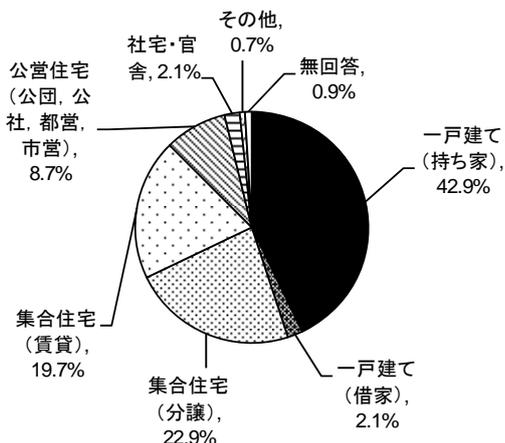
○中学生以下の子どもがいる回答者は 26.0%（「6 歳以下の乳幼児がいる」+「小・中学生の子どもがいる」）で約 3 割近くを占めています。



第2章 調査結果 <回答者の属性>

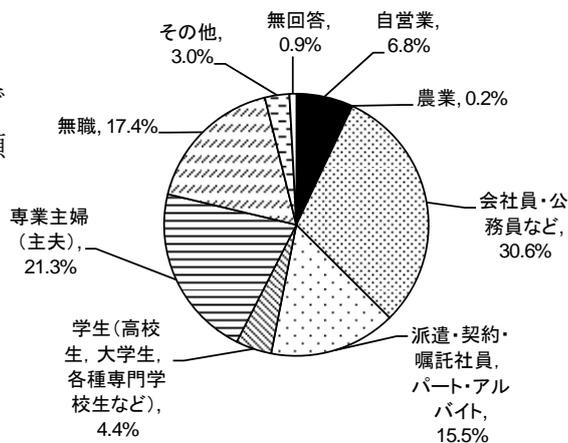
(4) 居住する住居形態

○回答者の住居形態は、「一戸建て（持ち家）」が42.9%で最も多く、次いで「集合住宅（分譲）」の22.9%の順となっています。



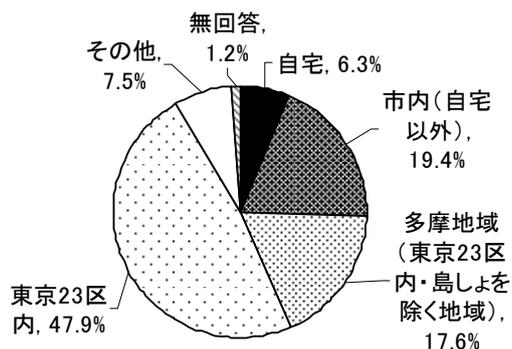
(5) 職業

○回答者の職業は、「会社員・公務員など」が30.6%で最も多く、次いで「専業主婦（主夫）」の21.3%の順となっています。



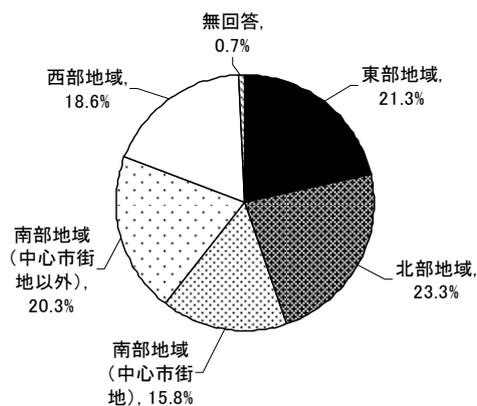
(6) 通勤・通学先

○回答者の通勤・通学先は「東京23区内」が47.9%で最も多く、次いで「市内（自宅以外）」の19.4%の順となっています。



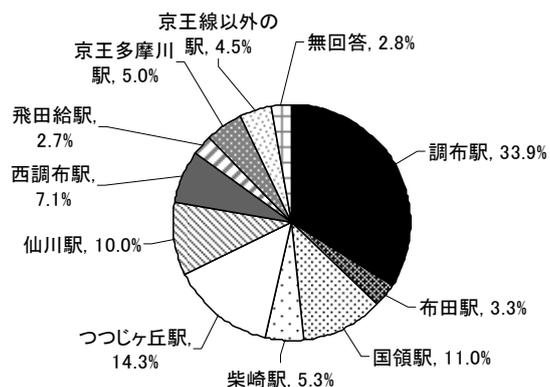
(7) 現在の居住地域

○回答者の居住地域は、平成 24 年 10 月 1 日現在の調布市の人口構成とほぼ同様となっており、「北部地域」が 23.3%で最も多く、次いで「東部地域」の 21.3%の順となっています。



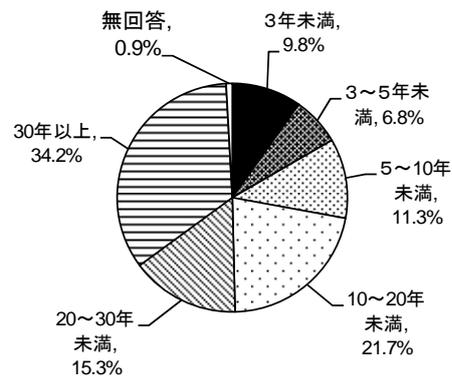
(8) 普段利用する駅

○回答者の普段利用する駅は、「調布駅」が 33.9%で最も多く、次いで「つつじヶ丘駅」の 14.3%の順となっています。



(9) 居住年数

○回答者の居住年数は、「30年以上」が 34.2%で最も多く、次いで「10~20年未満」の 21.7%の順となっています。



2 「新たな基本計画」について

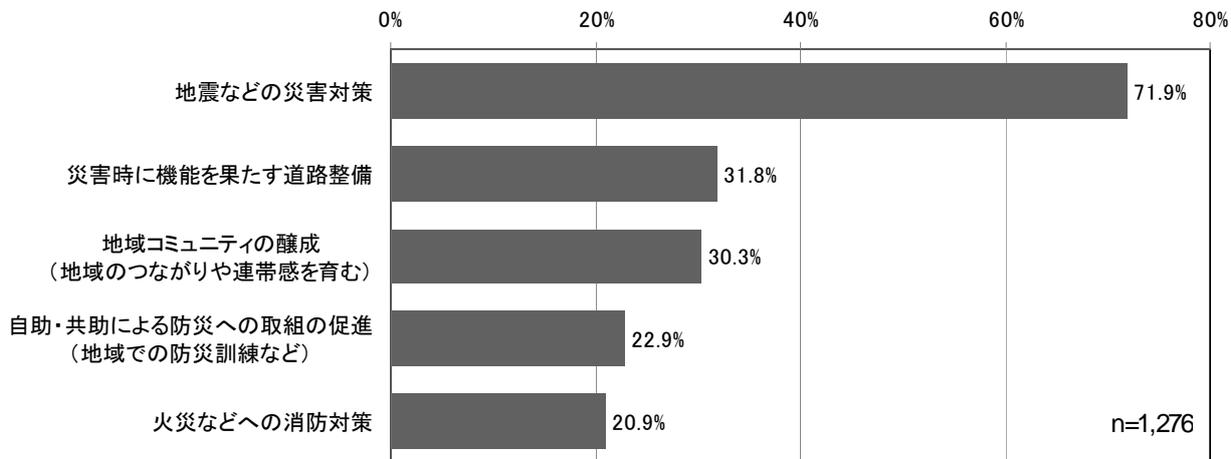
1 「強いまち」をつくるプロジェクト
 これまでの防災対策の取組に加え、震災の対応や教訓を踏まえた災害に強いまちをつくりま

問1) 「強いまち」づくりについて、今後の市の取組として、どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「地震などの災害対策」が71.9%で最も多く、7割を上回っています。
- 次いで、「災害時に機能を果たす道路整備」の31.8%、「地域コミュニティの醸成（地域のつながりや連帯感を育む）」の30.3%の順となっています。
- 年齢層別に見ると、「地震などの災害対策」の割合は50歳代以下で高くなる傾向が見られます。
- また、「自助・共助による防災への取組の促進（地域での防災訓練など）」と「地域コミュニティの醸成（地域のつながりや連帯感を育む）」それぞれの割合が60歳代を中心に高くなる傾向が見られます。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		地震などの災害対策	火災などへの消防対策	災害時に機能を果たす道路整備	自助・共助による防災への取組の促進 (地域での防災訓練など)	地域コミュニティの醸成 (地域のつながりや連帯感を育む)
年齢	16～19歳 (n=30)	73.3%	10.0%	26.7%	26.7%	30.0%
	20～29歳 (n=99)	73.7%	20.2%	30.3%	19.2%	28.3%
	30～39歳 (n=190)	77.4%	20.0%	34.7%	21.1%	23.7%
	40～49歳 (n=246)	76.0%	25.6%	33.3%	18.7%	28.0%
	50～59歳 (n=190)	74.7%	23.7%	33.7%	25.8%	31.6%
	60～69歳 (n=223)	68.2%	18.8%	30.9%	28.3%	35.0%
	70歳以上 (n=294)	64.6%	19.0%	29.6%	22.4%	32.7%

2 「安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクト

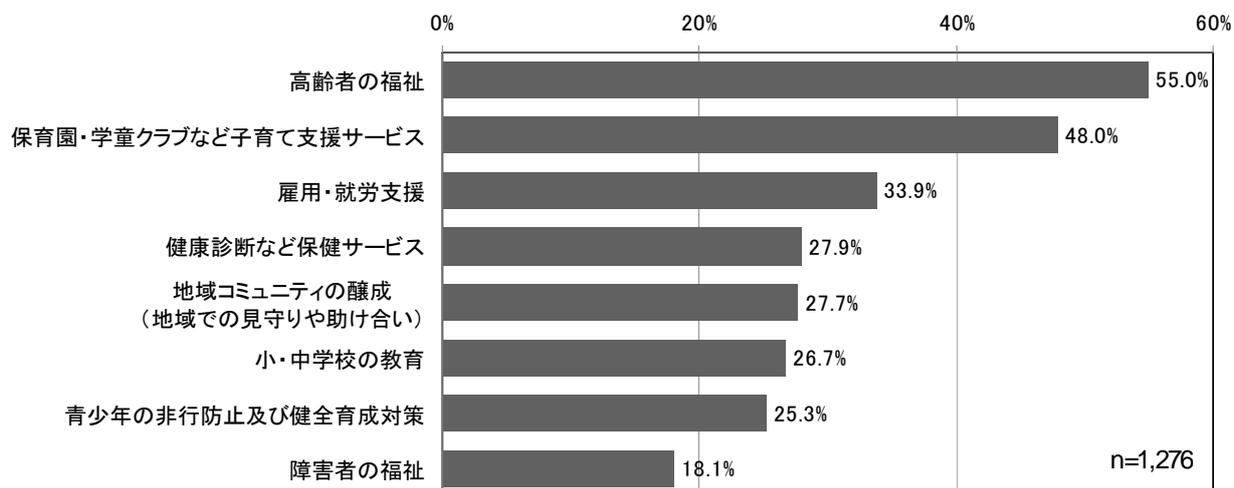
福祉や子育て，教育などの面で，誰もが安心して住み続けられるまちをつくります。

問2)「安心して住み続けられるまち」づくりについて，今後の市の取組として，どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「高齢者の福祉」が55.0%で最も多く，半数を上回っています。
- 次いで，「保育園・学童クラブなど子育て支援サービス」が48.0%となっています。
- 年齢層別に見ると，20～30歳代では「保育園・学童クラブなど子育て支援サービス」「小・中学校の教育」「健康診断など保健サービス」の割合が高い一方，50～60歳代では「高齢者福祉」の割合が高くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	小・中学校の教育	青少年の非行防止及び健全育成対策	高齢者の福祉	障害者の福祉	雇用・就労支援	地域コミュニティの醸成(地域での見守りや助け合い)	健康診断など保健サービス
年齢	16～19歳 (n=30)	40.0%	13.3%	20.0%	43.3%	10.0%	56.7%	33.3%	23.3%
	20～29歳 (n=99)	58.6%	32.3%	23.2%	37.4%	17.2%	40.4%	24.2%	37.4%
	30～39歳 (n=190)	69.5%	38.4%	21.6%	37.4%	14.2%	26.8%	22.6%	32.1%
	40～49歳 (n=246)	45.9%	34.1%	20.3%	54.5%	15.9%	37.8%	24.4%	28.0%
	50～59歳 (n=190)	46.3%	16.8%	26.3%	67.9%	19.5%	42.1%	29.5%	25.3%
	60～69歳 (n=223)	43.9%	17.5%	25.1%	65.5%	23.3%	33.2%	29.1%	26.5%
	70歳以上 (n=294)	37.1%	25.9%	33.0%	57.8%	17.7%	26.2%	32.3%	25.5%

3 「利便性が高く快適で豊かなまち」をつくるプロジェクト

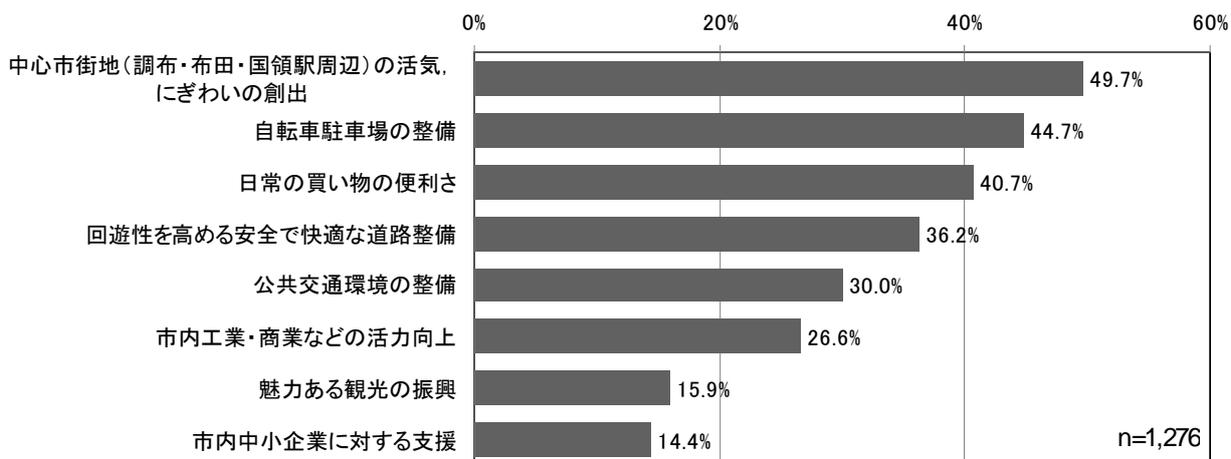
京王線の地下化により南北市街地の分断が解消されまちの一体化が図られます。この都市構造の大きな変貌を機に、利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある豊かなまちをつくります。

問3) 「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについて、今後の市の取組として、どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気、にぎわいの創出」が49.7%と最も高く、約半数となっています。
- 次いで、「自転車駐車場の整備」の44.7%、「日常の買い物の便利さ」の40.7%の順となっています。
- 年齢層別に見ると、10～20歳代で「回遊性を高める安全で快適な道路整備」の割合が高くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

年齢	年齢層	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気、にぎわいの創出	回遊性を高める安全で快適な道路整備	市内工業・商業などの活力向上	魅力ある観光の振興	日常の買い物の便利さ	市内中小企業に対する支援	公共交通環境の整備	自転車駐車場の整備
		16～19歳 (n=30)	46.7%	40.0%	10.0%	16.7%	36.7%	13.3%	26.7%
20～29歳 (n=99)	54.5%	41.4%	21.2%	12.1%	44.4%	11.1%	30.3%	46.5%	
30～39歳 (n=190)	50.5%	32.6%	22.6%	13.2%	46.3%	13.2%	29.5%	50.5%	
40～49歳 (n=246)	49.6%	36.6%	24.8%	12.2%	43.1%	12.2%	29.3%	54.1%	
50～59歳 (n=190)	54.2%	35.8%	33.7%	15.3%	41.1%	18.4%	33.2%	40.0%	
60～69歳 (n=223)	48.0%	35.4%	32.7%	19.7%	36.8%	15.7%	31.4%	44.8%	
70歳以上 (n=294)	45.9%	36.4%	25.2%	19.7%	36.7%	15.0%	28.6%	36.1%	

4 「うるおいのあるまち」をつくるプロジェクト

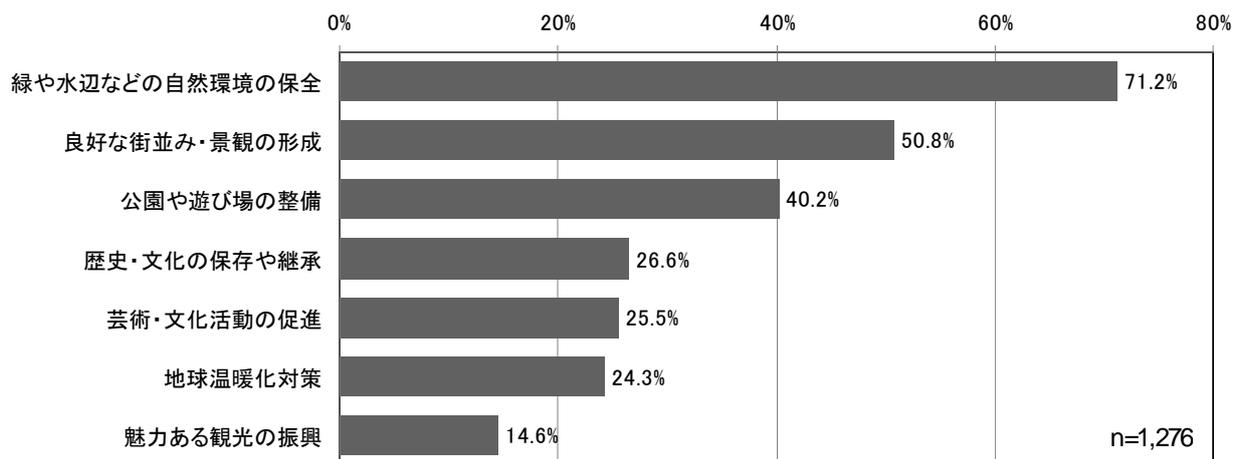
地域資源を生かした環境面等でうるおいを醸し出すまちをつくります。

問4) 「うるおいのあるまち」づくりについて、今後の市の取組として、どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「緑や水辺などの自然環境の保全」が71.2%と最も高く、7割を上回っています。
- 次いで、「良好な街並み・景観の形成」が50.8%、「公園や遊び場の整備」が40.2%となっています。
- 年齢層別に見ると、50～60歳代で「緑や水辺などの自然環境の保全」「芸術・文化活動の促進」「歴史・文化の保存や継承」が他の年代に比べて高くなる傾向が見られます。
- また、子育て世代である20～30歳代では「公園や遊び場の整備」の割合が半数以上となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		緑や水辺などの自然環境の保全	公園や遊び場の整備	地球温暖化対策	良好な街並み・景観の形成	魅力ある観光の振興	芸術・文化活動の促進	歴史・文化の保存や継承
年齢	16～19歳 (n=30)	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	16.7%	13.3%	16.7%
	20～29歳 (n=99)	65.7%	53.5%	20.2%	61.6%	14.1%	17.2%	17.2%
	30～39歳 (n=190)	63.7%	58.4%	16.3%	51.1%	16.3%	21.1%	24.2%
	40～49歳 (n=246)	70.7%	44.3%	26.0%	46.7%	17.1%	22.0%	26.0%
	50～59歳 (n=190)	77.4%	32.6%	22.6%	61.1%	11.1%	33.7%	31.6%
	60～69歳 (n=223)	76.2%	33.2%	24.2%	48.4%	13.5%	31.8%	31.4%
	70歳以上 (n=294)	72.1%	31.3%	28.9%	46.6%	14.3%	24.8%	25.9%

3 「日ごろの意識や行動」について

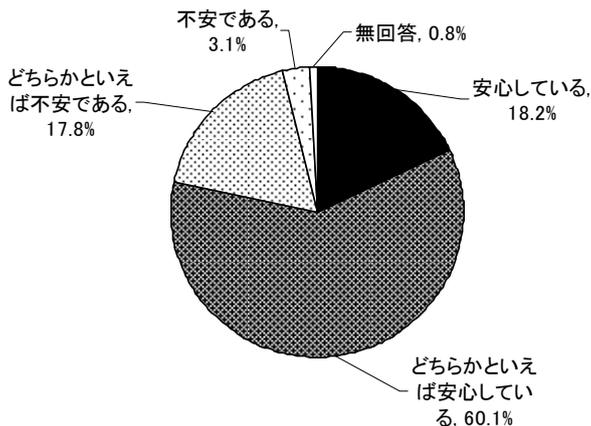
【 防犯について 】

問5) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心できると感じていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「安心している」は18.2%、「どちらかといえば安心している」は60.1%であり、合計すると8割近くを占めています。
- 男女別に見ると、「安心している」は男性が23.5%、女性が15.0%と、男性の方が、高くなっています。
- 年齢層別に見ると、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計はどの年齢層でも7割を上回っています。
- 地域別に見ると、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計はどの地域でも8割近くとなっています。

図表 防犯に関する意識



図表 男女別の防犯に関する意識

		安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である
性	男性 (n=481)	23.5%	59.0%	13.9%	2.7%
別	女性 (n=781)	15.0%	60.9%	20.0%	3.3%

図表 年齢層別の防犯に関する意識

		安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である
年齢	16~19歳 (n=30)	26.7%	46.7%	16.7%	6.7%
	20~29歳 (n=99)	25.3%	57.6%	13.1%	4.0%
	30~39歳 (n=190)	17.4%	58.9%	19.5%	3.2%
	40~49歳 (n=246)	16.7%	62.6%	17.5%	2.8%
	50~59歳 (n=190)	17.4%	60.0%	19.5%	3.2%
	60~69歳 (n=223)	16.1%	61.0%	19.3%	2.7%
	70歳以上 (n=294)	19.0%	60.9%	16.0%	2.7%

図表 地域別の防犯に関する意識

		安心している	どちらかとい えば安心して いる	どちらかとい えば不安であ る	不安である
地 域	東部地域 (n=272)	21.0%	58.5%	18.0%	1.8%
	北部地域 (n=297)	16.8%	60.9%	19.2%	2.4%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	20.3%	57.4%	18.3%	3.0%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	17.4%	60.6%	17.4%	4.2%
	西部地域 (n=237)	16.5%	63.3%	15.2%	4.2%

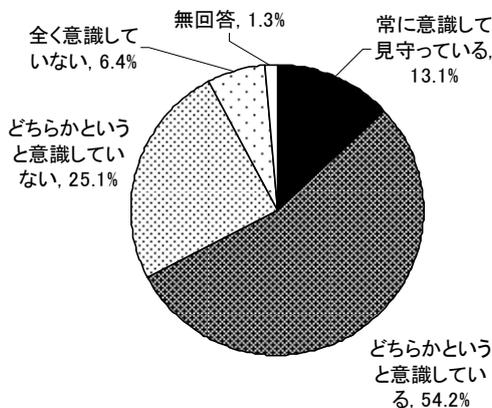
【 子ども・子育て支援について 】

問6) あなたは、地域の子どもの見守りを意識していますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「常に意識して見守っている」は13.1%、「どちらかという意識している」は54.2%であり、合計すると7割近くを占めています。
- 年齢層別に見ると、「常に意識して見守っている」と「どちらかという意識している」の合計の割合は、概ね年齢層が高いほど多い傾向が見られます。
- 地域別に見ると、「常に意識して見守っている」と「どちらかという意識している」の合計は、北部地域と南部地域（中心市街地以外）で7割を上回っています。

図表 子どもの見守りに関する意識



図表 年齢層別の子どもの見守りに関する意識

		常に意識して見守っている	どちらかという意識している	どちらかという意識していない	全く意識していない
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	26.7%	50.0%	16.7%
	20～29歳 (n=99)	9.1%	35.4%	34.3%	21.2%
	30～39歳 (n=190)	7.4%	50.5%	32.1%	8.4%
	40～49歳 (n=246)	10.6%	55.7%	25.2%	8.5%
	50～59歳 (n=190)	10.5%	48.9%	34.7%	5.8%
	60～69歳 (n=223)	13.5%	60.1%	21.5%	3.6%
	70歳以上 (n=294)	22.4%	63.3%	11.2%	0.0%

図表 地域別の子どもの見守りに関する意識

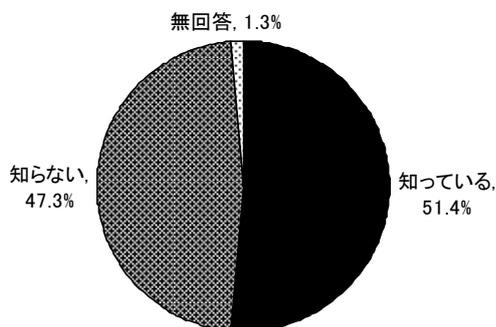
		常に意識して見守っている	どちらかという意識している	どちらかという意識していない	全く意識していない
地域	東部地域 (n=272)	13.2%	48.9%	29.4%	7.4%
	北部地域 (n=297)	12.8%	59.6%	19.9%	6.7%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	9.9%	56.9%	25.2%	6.9%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	14.7%	55.6%	24.3%	4.2%
	西部地域 (n=237)	13.5%	49.8%	27.8%	7.2%

問7) あなたは、児童虐待に関する相談をどこで受け付けているか知っていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「知っている」は 51.4%、「知らない」は 47.3%であり、児童虐待の相談窓口に関する認知度は約半数となっています。
- 男女別に見ると、「知っている」は女性が半数を上回っている一方、男性は4割強となっています。
- 年齢層別に見ると、「知っている」割合は30～40歳代、60歳代以上で半数を上回っています。

図表 児童虐待に関する意識



図表 男女別の児童虐待に関する意識

	知っている	知らない
性 男性 (n=481)	43.7%	54.9%
別 女性 (n=781)	56.1%	42.8%

図表 年齢層別の児童虐待に関する意識

	知っている	知らない
16～19歳 (n=30)	33.3%	63.3%
20～29歳 (n=99)	46.5%	53.5%
30～39歳 (n=190)	53.2%	45.8%
40～49歳 (n=246)	52.8%	47.2%
50～59歳 (n=190)	48.9%	50.5%
60～69歳 (n=223)	53.4%	45.3%
70歳以上 (n=294)	52.4%	44.6%

【健康づくりについて】

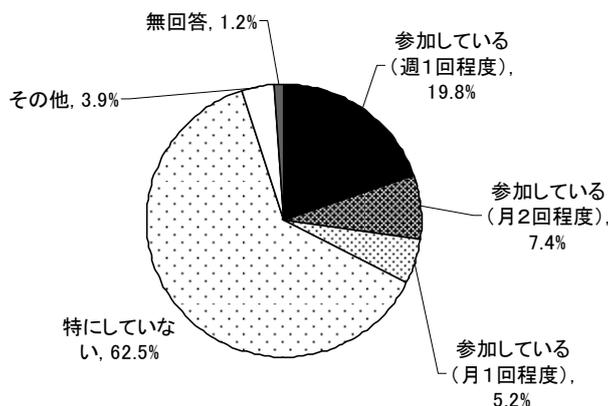
問8)あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。

<全体 (n=1,276) >

○「参加している (週1回程度)」「参加している (月2回程度)」「参加している (月1回程度)」の合計は3割強を占めています。

○年齢層別に見ると、「参加している (週1回程度)」「参加している (月2回程度)」「参加している (月1回程度)」の合計の割合は概ね年齢が高いほど多い傾向にあります。

図表 健康づくりに関する意識



図表 年齢層別の健康づくりに関する意識

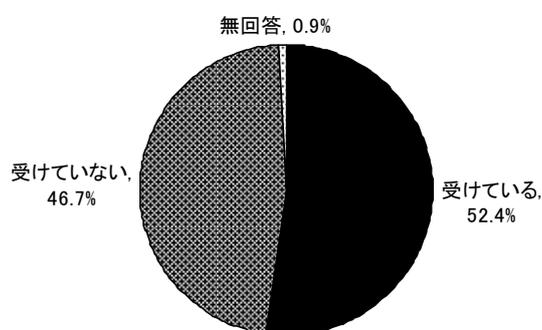
		参加している (週1回程度)	参加している (月2回程度)	参加している (月1回程度)	特にしていない	その他
年齢	16~19歳 (n=30)	6.7%	6.7%	3.3%	73.3%	6.7%
	20~29歳 (n=99)	10.1%	3.0%	6.1%	77.8%	2.0%
	30~39歳 (n=190)	12.1%	5.3%	8.9%	69.5%	2.1%
	40~49歳 (n=246)	17.1%	5.3%	5.7%	70.3%	1.2%
	50~59歳 (n=190)	18.4%	6.8%	2.6%	66.8%	5.3%
	60~64歳 (n=111)	27.0%	6.3%	4.5%	57.7%	3.6%
	65~69歳 (n=112)	28.6%	12.5%	2.7%	50.0%	4.5%
	70~74歳 (n=160)	28.1%	11.3%	4.4%	50.6%	4.4%
	75歳以上 (n=134)	25.4%	10.4%	5.2%	47.0%	9.7%

問9) あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「受けている」は 52.4%、「受けていない」は 46.7%であり、定期的ながん検診の受診者は半数を上回っています。
- 男女別に見ると、「受けている」は女性が 58.4%と6割近くである一方、男性は 42.6%と4割強となっています。
- 年齢層別に見ると、「受けている」割合は40歳代以上で多い傾向にあり、特に70歳以上と40歳代が6割を上回っています。

図表 定期がん検診の受診状況



図表 男女別の定期がん検診の受診状況

		受けている	受けていない
性	男性 (n=481)	42.6%	56.5%
別	女性 (n=781)	58.4%	40.7%

図表 年齢層別の定期がん検診の受診状況

		受けている	受けていない
年齢	16~19歳 (n=30)	0.0%	96.7%
	20~29歳 (n=99)	12.1%	87.9%
	30~39歳 (n=190)	35.3%	63.7%
	40~49歳 (n=246)	60.2%	39.8%
	50~59歳 (n=190)	54.2%	45.8%
	60~69歳 (n=223)	59.6%	39.5%
	70歳以上 (n=294)	69.4%	28.2%

問10) 問9で「受けている」を選んだ方に伺います。どのようながん検診を、どのような場所で受けていますか。

<全体 (n=669) >

- 男女別に見ると、「胃がん」「大腸がん」「肺がん」それぞれの割合は男性が女性のおよそ2倍となっています。
- 年齢層別に見ると、「胃がん」「大腸がん」「肺がん」それぞれの割合は年齢が高いほど高い傾向にあり、「子宮がん」の割合が20～30歳代で、「乳がん」の割合が30～50歳代で高くなっています。
- また、がん検診を受けている場所は、「住民検診（調布市で実施している検診）」が46.1%で最も高く、次いで「職場での検診」が20.5%、「人間ドック」が15.7%となっています。
- 男女別に見ると、「職場での検診」や「人間ドック」は男性の方が、やや高く、「住民検診（調布市で実施している検診）」は女性の方が、高くなっています。
- 年齢層別に見ると、20～50歳代では「職場での検診」「住民検診（調布市で実施している検診）」「人間ドック」に割合が分散している一方、60歳代以上では「住民検診（調布市で実施している検診）」が高くなっています。

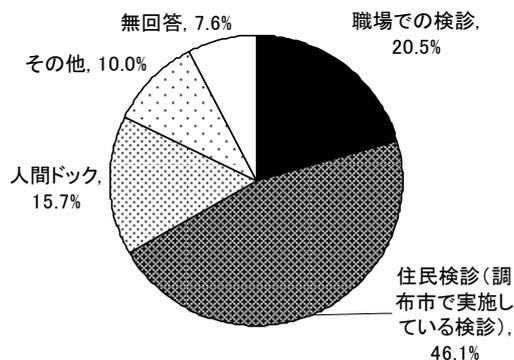
図表 男女別の受けているがん健診の種類

		胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん	その他
性	男性 (n=205)	23.4%	14.1%	0.0%	0.0%	2.0%	3.9%
別	女性 (n=456)	12.7%	6.1%	10.7%	12.3%	0.4%	1.5%

図表 年齢層別の受けているがん健診の種類

		胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん	その他
年齢	16～19歳 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	20～29歳 (n=12)	8.3%	0.0%	66.7%	8.3%	0.0%	8.3%
	30～39歳 (n=67)	4.5%	6.0%	26.9%	11.9%	0.0%	1.5%
	40～49歳 (n=148)	10.8%	4.7%	8.8%	19.6%	0.7%	0.7%
	50～59歳 (n=103)	15.5%	8.7%	2.9%	10.7%	0.0%	4.9%
	60～69歳 (n=133)	21.1%	12.0%	5.3%	3.0%	1.5%	0.8%
	70歳以上 (n=204)	21.6%	10.3%	0.0%	2.0%	1.5%	3.4%

図表 がん検診を受けている場所



図表 男女別のがん健診を受けている場所

		職場での検診	住民検診(調布市で実施している検診)	人間ドック	その他
性別	男性 (n=205)	22.4%	41.0%	24.9%	7.3%
	女性 (n=456)	20.0%	48.2%	11.6%	11.4%

図表 年齢層別のがん健診を受けている場所

		職場での検診	住民検診(調布市で実施している検診)	人間ドック	その他
年齢	16~19歳 (n=0)	-	-	-	-
	20~29歳 (n=12)	33.3%	33.3%	8.3%	16.7%
	30~39歳 (n=67)	31.3%	34.3%	20.9%	7.5%
	40~49歳 (n=148)	38.5%	23.0%	20.3%	10.1%
	50~59歳 (n=103)	35.9%	16.5%	25.2%	12.6%
	60~69歳 (n=133)	11.3%	57.1%	18.8%	6.0%
70歳以上 (n=204)		1.5%	75.5%	3.9%	12.3%

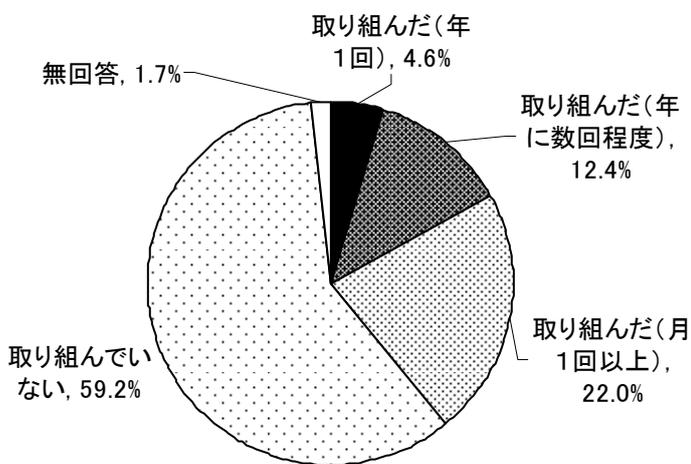
【生涯学習について】

問11) あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「取り組んだ (年1回)」「取り組んだ (年に数回程度)」「取り組んだ (月1回以上)」の合計が約4割を占めています。
- 男女別に見ると、男性よりも女性の方が、取り組んでいる傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、20歳代以下と60歳以上で取り組んだ割合が高い傾向にあります。

図表 生涯学習の取組状況



図表 男女別の取組状況

		取り組んだ (年1回)	取り組んだ (年に数回程)	取り組んだ (月1回以上)	取り組んでい ない
性別	男性 (n=481)	5.4%	10.0%	19.5%	63.6%
	女性 (n=781)	4.1%	13.7%	23.8%	56.5%

図表 年齢層別の取組状況

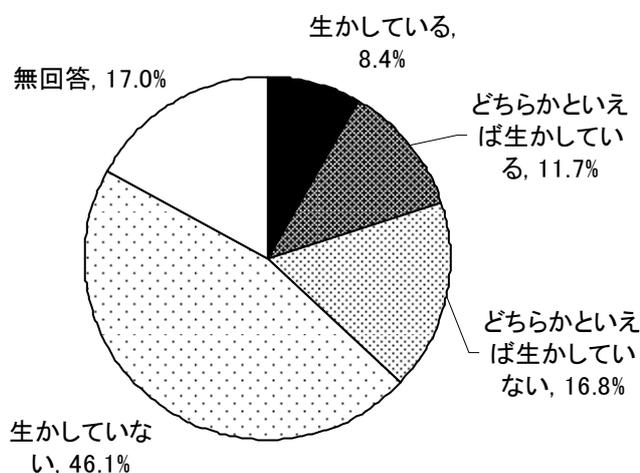
		取り組んだ (年1回)	取り組んだ (年に数回程)	取り組んだ (月1回以上)	取り組んでい ない
年齢	16~19歳 (n=30)	6.7%	10.0%	26.7%	53.3%
	20~29歳 (n=99)	3.0%	19.2%	25.3%	52.5%
	30~39歳 (n=190)	6.3%	14.7%	15.8%	61.6%
	40~49歳 (n=246)	4.5%	11.4%	21.1%	63.0%
	50~59歳 (n=190)	3.7%	10.0%	20.0%	65.3%
	60~69歳 (n=223)	6.3%	10.8%	26.5%	54.3%
	70歳以上 (n=294)	3.4%	12.6%	23.5%	56.8%

問 12) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能をまちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「生かしている」が 8.4%、「どちらかといえば生かしている」が 11.7%であり、合計すると 2割を上回っています。
- 男女別に見ると、男性よりも女性の方が、知識を自分以外のために生かしている傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、「生かしている」の割合は 20 歳代以下と 60 歳代以上で 2割を上回っています。

図表 知識・技能の活用状況



図表 男女別の知識・技能の活用状況

		生かしている	どちらかとい えば生かして いる	どちらかとい えば生かして いない	生かしていな い
性	男性 (n=481)	9.4%	10.0%	15.2%	51.1%
別	女性 (n=781)	7.8%	12.8%	17.8%	43.3%

図表 年齢層別の知識・技能の活用状況

		生かしている	どちらかとい えば生かして いる	どちらかとい えば生かして いない	生かしていな い
年 齢	16～19歳 (n=30)	10.0%	6.7%	26.7%	50.0%
	20～29歳 (n=99)	10.1%	20.2%	14.1%	49.5%
	30～39歳 (n=190)	5.3%	10.0%	20.5%	51.1%
	40～49歳 (n=246)	6.9%	10.2%	13.8%	52.4%
	50～59歳 (n=190)	10.0%	7.9%	11.6%	52.6%
	60～69歳 (n=223)	7.6%	15.7%	19.3%	40.8%
	70歳以上 (n=294)	10.5%	11.2%	18.7%	35.7%

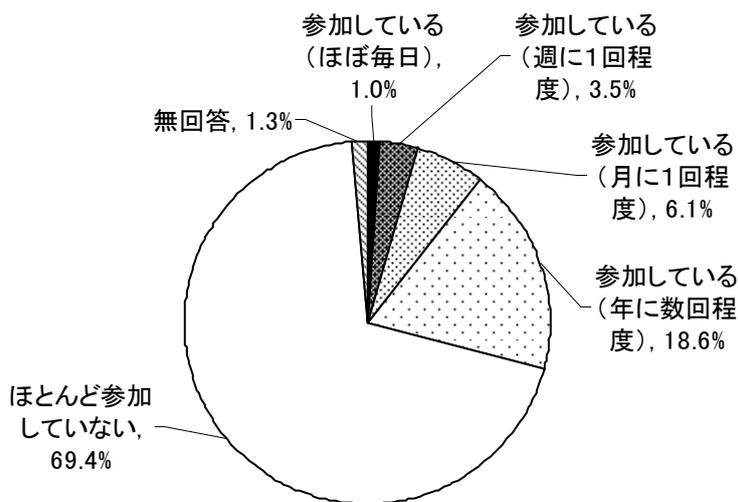
【 地域コミュニティについて 】

問 13) あなたは、この1年間に地域の活動やイベントに参加したことがありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「参加している (ほぼ毎日)」「参加している (週に1回程度)」「参加している (月に1回程度)」「参加している (年に数回程度)」の合計は約3割となっています。
- 男女別に見ると、男性よりも女性の方が、参加する傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、少なくとも月に1回程度参加している割合 (「参加している (ほぼ毎日)」「参加している (週に1回程度)」「参加している (月に1回程度)」の合計) が60歳代以上で高くなっています。
- また、「参加している (年に数回程度)」の割合は、30~40歳代で高くなっています。
- 地域別に見ると、参加している人の割合 (「参加している (ほぼ毎日)」「参加している (週に1回程度)」「参加している (月に1回程度)」「参加している (年に数回程度)」の合計) が南部地域 (中心市街地以外) と西部地域で高くなっています。

図表 地域活動等への参加状況



図表 男女別の地域活動等への参加状況

	参加している (ほぼ毎日)	参加している (週に1回程度)	参加している (月に1回程度)	参加している (年に数回程度)	ほとんど参加していない
性 男性 (n=481)	1.5%	2.3%	5.8%	14.1%	75.1%
別 女性 (n=781)	0.8%	4.4%	6.0%	21.5%	66.1%

図表 年齢層別の参加状況

		参加している (ほぼ毎日)	参加している (週に1回程度)	参加している (月に1回程度)	参加している (年に数回程度)	ほとんど参加 していない
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	90.0%
	20～29歳 (n=99)	0.0%	3.0%	2.0%	8.1%	86.9%
	30～39歳 (n=190)	0.5%	0.5%	3.7%	22.6%	72.6%
	40～49歳 (n=246)	0.0%	2.4%	6.5%	25.6%	64.6%
	50～59歳 (n=190)	0.5%	0.5%	5.3%	12.6%	80.5%
	60～69歳 (n=223)	2.7%	3.1%	6.7%	16.6%	68.6%
	70歳以上 (n=294)	1.4%	9.2%	8.8%	20.7%	56.8%

図表 地域別の参加状況

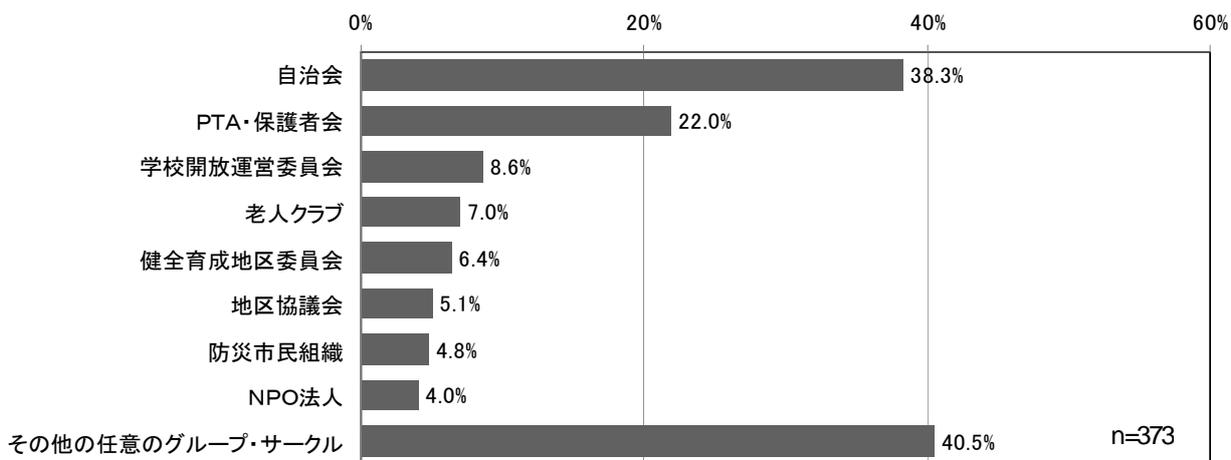
		参加している (ほぼ毎日)	参加している (週に1回程度)	参加している (月に1回程度)	参加している (年に数回程度)	ほとんど参加 していない
地域	東部地域 (n=272)	0.4%	3.7%	4.4%	19.1%	69.9%
	北部地域 (n=297)	1.3%	4.4%	5.4%	17.5%	70.4%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	1.0%	2.5%	4.0%	15.3%	75.7%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	0.8%	4.6%	7.3%	22.0%	64.5%
	西部地域 (n=237)	1.3%	2.1%	8.9%	19.0%	67.9%

問 14) 問 13 で「参加している（ほぼ毎日）（週に 1 回程度）（月に 1 回程度）（年に数回程度）」のいずれかを選んだ方に伺います。それはどのような団体のどのような活動ですか。（複数回答可）

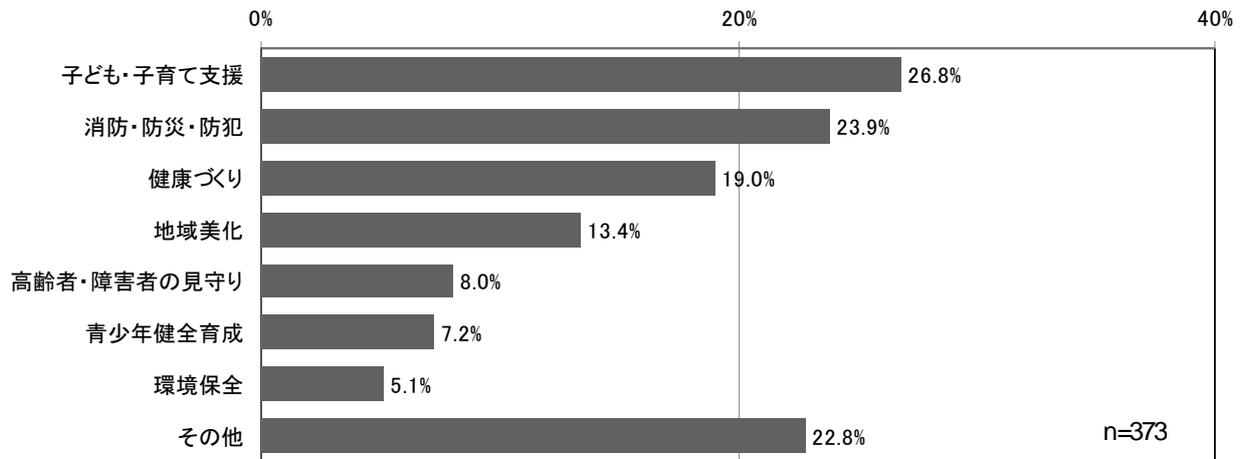
<全体（n=373）>

- 活動団体の種類としては、「その他の任意のグループ・サークル」が 40.5%で最も多く、約 4 割となっています。
- 次いで「自治会」が 38.3%、「PTA・保護者会」が 22.0%の順となっており、これら以外の団体の割合は 1 割以下となっています。
- 活動内容としては、「子ども・子育て支援」が 26.8%と最も多くなっています。
- 次いで、「消防・防災・防犯」が 23.9%、「その他」が 22.8%、「健康づくり」が 19.0%の順となっています。
- 活動場所としては、「小・中学校」が 30.0%と最も多く、「その他」も 29.0%と 3 割近くとなっています。
- 次いで、「文化会館たづくり」が 19.6%、「地域福祉センター」が 18.0%の順となっています。

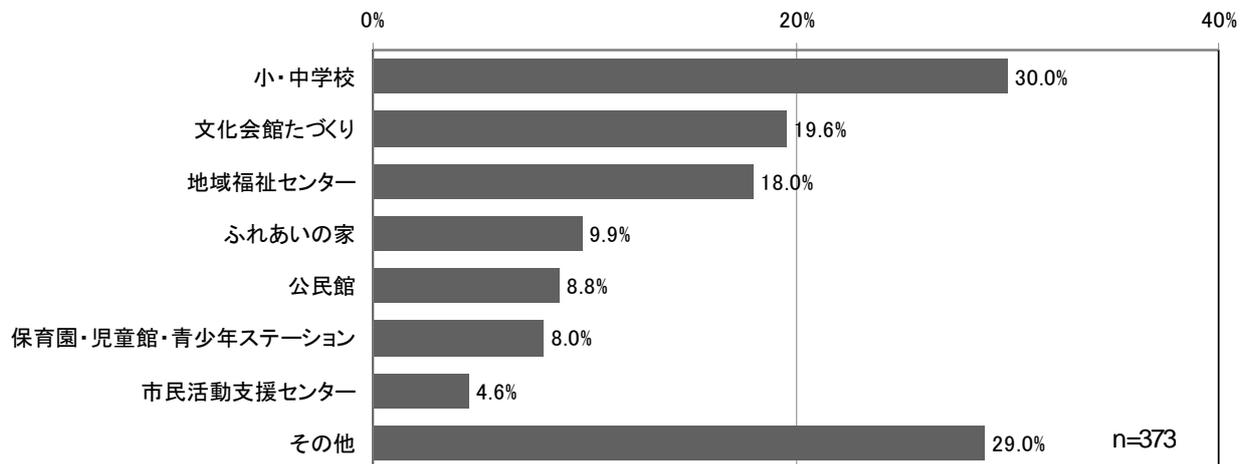
図表 活動団体の種類



図表 活動内容



図表 活動場所

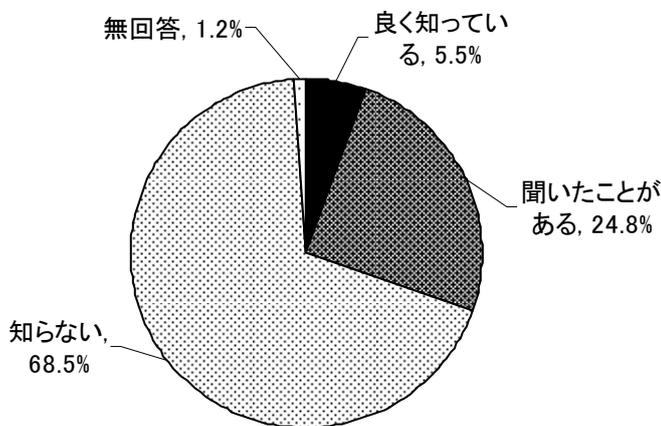


問 15) あなたは、「地区協議会」の取組をご存じですか。

<全体 (n=1,276) >

- 「良く知っている」が 5.5%、「聞いたことがある」が 24.8%であり、合計すると3割を上回っています。
- 年齢層別に見ると、年齢が高くなるほど「良く知っている」と「聞いたことがある」の合計の割合が高くなる傾向にあります。
- 地域別に見ると、西部地域では「良く知っている」が 10.5%と1割を上回っているほか、東部地域でも「聞いたことがある」が 31.6%と3割を上回っており、他地域よりも認知度が高くなっています。

図表 地区協議会の認知度



図表 年齢層別の地区協議会の認知度

		良く知っている	聞いたことがある	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	6.7%	90.0%
	20～29歳 (n=99)	1.0%	17.2%	81.8%
	30～39歳 (n=190)	1.1%	15.8%	82.1%
	40～49歳 (n=246)	1.6%	21.5%	76.0%
	50～59歳 (n=190)	5.3%	21.6%	72.1%
	60～69歳 (n=223)	6.3%	31.8%	60.1%
	70歳以上 (n=294)	12.9%	35.0%	50.3%

図表 地域別の地区協議会の認知度

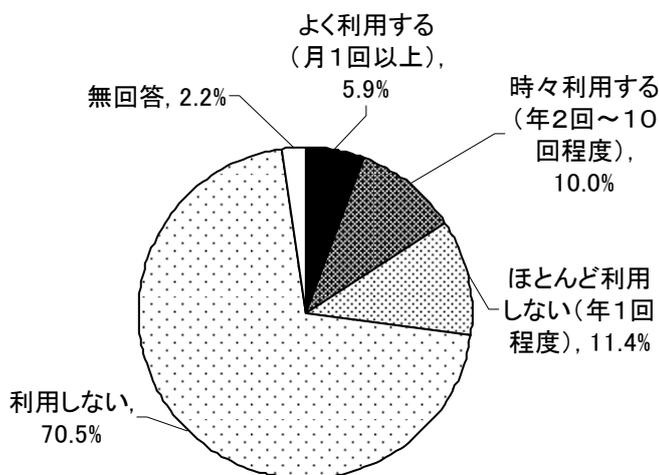
		良く知っている	聞いたことがある	知らない
地域	東部地域 (n=272)	3.3%	31.6%	63.6%
	北部地域 (n=297)	4.0%	24.9%	70.4%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	4.0%	20.3%	73.3%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	6.2%	27.0%	66.0%
	西部地域 (n=237)	10.5%	18.1%	70.5%

問 16) 地域福祉センターやふれあいの家は、地域活動や住民同士の交流の拠点として整備されていますが、利用されたことがありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「よく利用する (月1回以上)」が 5.9%、「時々利用する (年2回～10回程度)」が 10.0% となっており、合計すると 15.9%となっています。
- 年齢層別に見ると、70歳以上で「よく利用する (月1回以上)」が1割以上となっているなど、年齢が高くなるにつれ、利用される傾向にあります。

図表 施設利用状況



図表 年齢層別の施設の利用状況

		よく利用する (月1回以上)	時々利用する (年2回～10 回程度)	ほとんど利用 しない(年1回 程度)	利用しない
年齢	16～19歳 (n=30)	0.0%	10.0%	3.3%	86.7%
	20～29歳 (n=99)	3.0%	3.0%	7.1%	86.9%
	30～39歳 (n=190)	1.6%	10.0%	10.5%	76.8%
	40～49歳 (n=246)	2.4%	10.2%	10.2%	76.8%
	50～59歳 (n=190)	3.7%	7.4%	15.3%	71.1%
	60～69歳 (n=223)	6.3%	11.7%	11.7%	67.3%
	70歳以上 (n=294)	14.3%	12.2%	12.6%	56.5%

図表 地域別の施設の利用状況

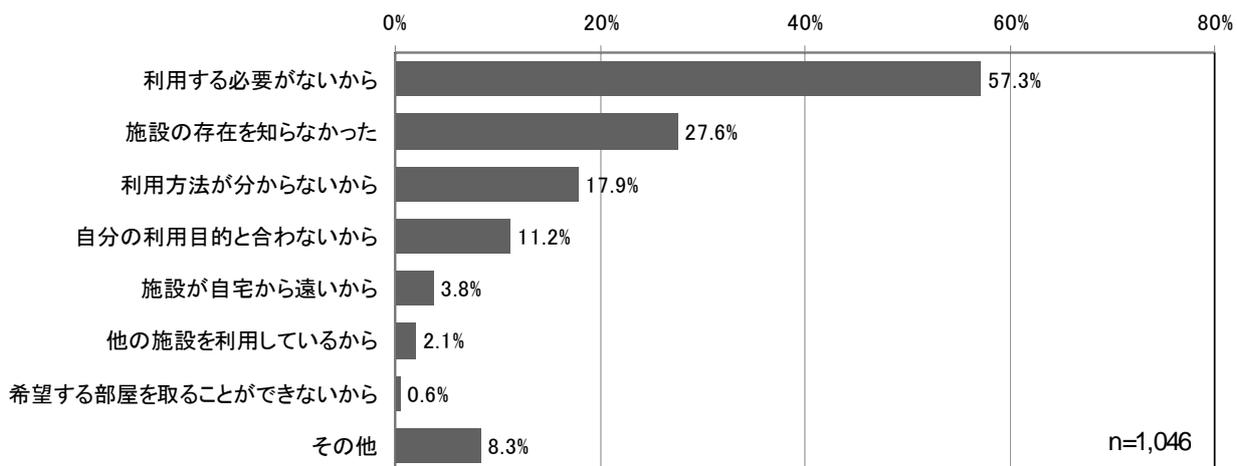
		よく利用する (月1回以上)	時々利用する (年2回～10 回程度)	ほとんど利用 しない(年1回 程度)	利用しない
地域	東部地域 (n=272)	5.9%	9.6%	11.4%	71.0%
	北部地域 (n=297)	6.1%	11.1%	12.8%	67.3%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	4.5%	5.4%	10.4%	77.7%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	6.9%	11.2%	7.7%	72.2%
	西部地域 (n=237)	5.5%	11.8%	14.3%	66.2%

問 17) 問 16 で「ほとんど利用しない（年 1 回程度）」「利用しない」のいずれかを選んだ方に伺います。利用されていない理由は何ですか。（複数回答可）

<全体（n=1,046）>

- 「利用する必要がないから」が 57.3%と最も多く、6 割近くとなっています。
- 次いで、「施設の存在を知らなかった」が 27.6%、「利用方法が分からないから」が 17.9%、「自分の利用目的と合わないから」が 11.2%の順となっています。

図表 利用していない理由



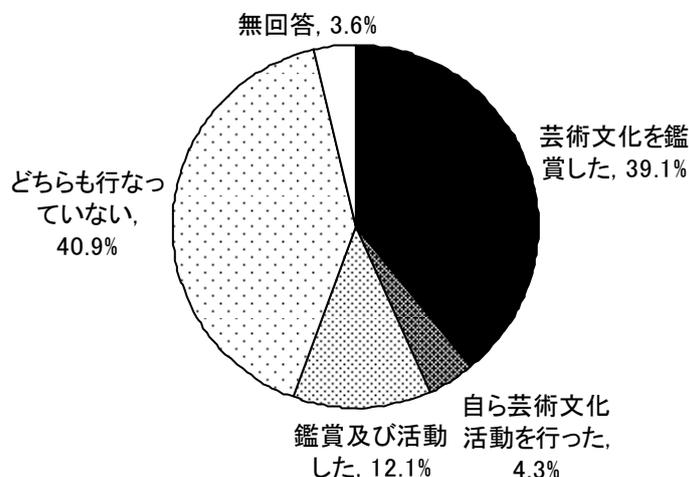
【 芸術・歴史文化について 】

問 18) あなたは、この1年間に市内外を問わず、文化施設等で芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。

<全体 (n=1,276) >

- 「芸術文化を鑑賞した」が 39.1%、「鑑賞及び活動した」が 12.1%、「自ら芸術文化活動を行った」が 4.3%であり、合計の割合が半数を超えています。
- 年齢層別に見ると、「自ら芸術文化活動を行った」割合は10歳代を除き、年齢が高くなるにつれ高くなっています。「観賞及び活動した」割合は20～40歳代で高い傾向にあります。

図表 芸術文化活動への参加状況



図表 年齢層別の芸術文化活動への参加状況

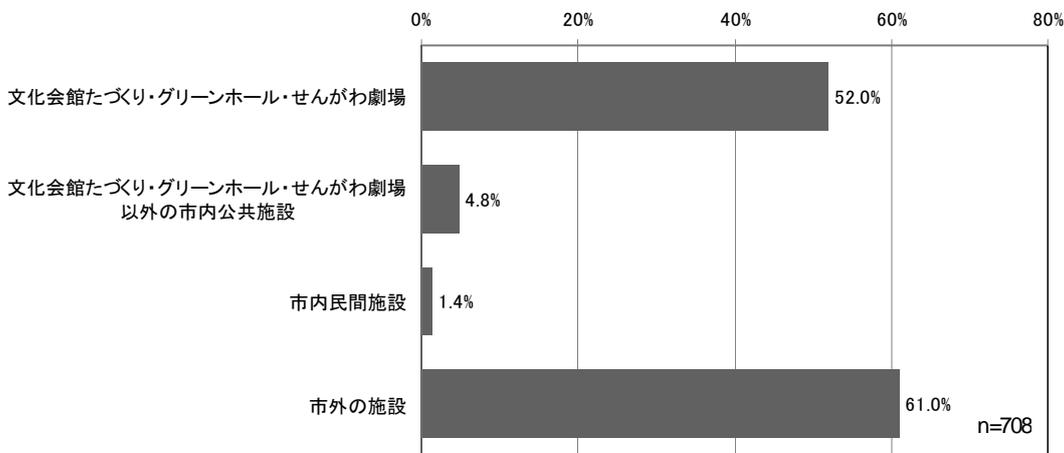
		芸術文化を鑑賞した	自ら芸術文化活動を行った	鑑賞及び活動した	どちらも行っていない
年齢	16～19歳 (n=30)	33.3%	13.3%	10.0%	43.3%
	20～29歳 (n=99)	39.4%	1.0%	14.1%	45.5%
	30～39歳 (n=190)	39.5%	1.6%	14.7%	43.7%
	40～49歳 (n=246)	36.6%	4.1%	16.3%	42.3%
	50～59歳 (n=190)	38.4%	4.7%	9.5%	43.7%
	60～69歳 (n=223)	40.4%	4.0%	11.2%	39.5%
	70歳以上 (n=294)	40.5%	6.5%	8.8%	36.1%

問 19) 問 18 で「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」のいずれかを選んだ方に伺います。どこで芸術文化を鑑賞または芸術文化活動を行いましたか。(複数回答可)

<全体 (n=708) >

- 「市外の施設」が 61.0%と最も多く、6割を上回っています。
- 市内の施設の中では、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」が 52.0%と半数を上回っており、これら以外の市内公共施設は5%を下回っています。

図表 芸術文化活動の場所



【市街地整備について】

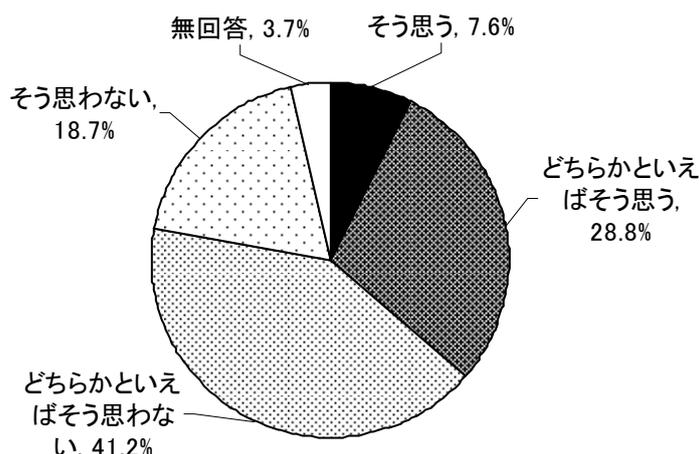
問 20) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的であると思いますか。

また、中心市街地の魅力を高めるために必要なものは何だと思いますか。（複数回答可）

<全体（n=1,276）>

- 「そう思う」が 7.6%、「どちらかと言えばそう思う」が 28.8%であり、合計すると約 4 割近くとなっています。
- 年齢層別に見ると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合は、年齢が若いほど高くなる傾向にあり、両者を合計した値は、10 歳代では 6 割以上、20 歳代でも半数を上回っています。
- 魅力を高めるために必要なものとしては、「商業・業務施設」が 48.7%で最も多く、次いで「良好な駅前景観」「駐輪場」「人に優しい道路」「公園・みどり」の順となっています。

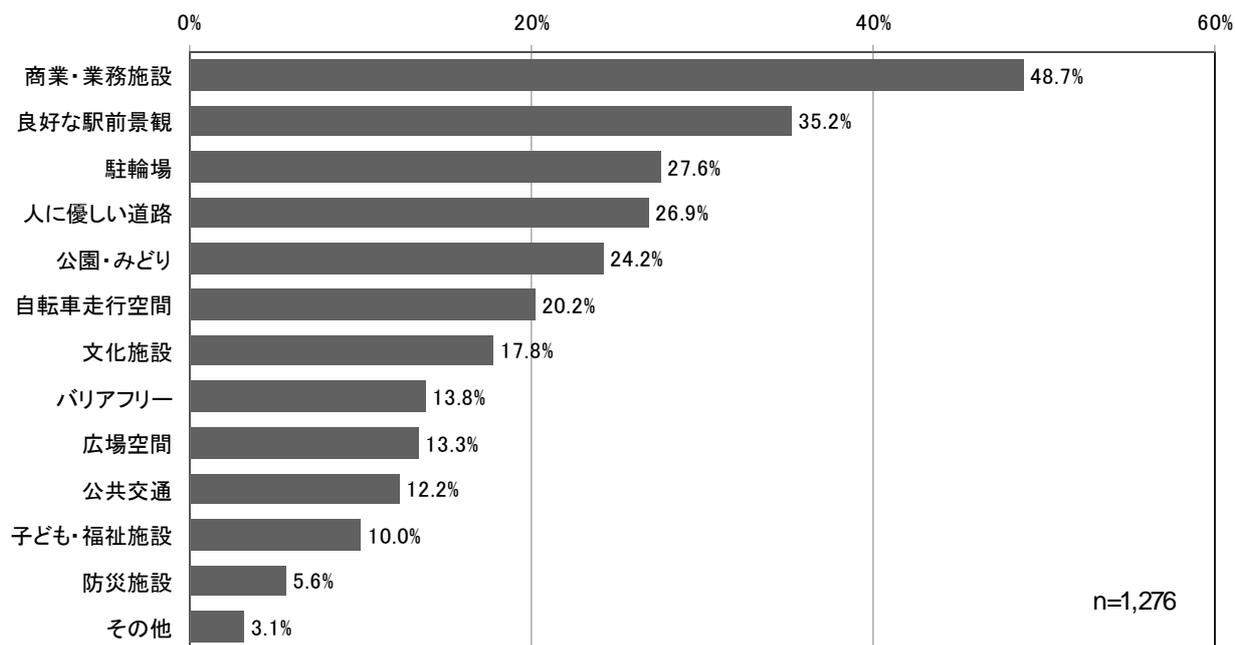
図表 中心市街地の魅力に対する意識



図表 年齢層別の中心市街地の魅力に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
年齢	16～19歳 (n=30)	10.0%	53.3%	30.0%	6.7%	700.0%
	20～29歳 (n=99)	9.1%	42.4%	33.3%	15.2%	700.0%
	30～39歳 (n=190)	8.9%	32.1%	40.5%	17.9%	700.5%
	40～49歳 (n=246)	6.5%	27.6%	42.3%	20.3%	703.3%
	50～59歳 (n=190)	5.3%	21.1%	49.5%	22.6%	701.6%
	60～69歳 (n=223)	5.8%	20.2%	46.6%	22.9%	704.5%
	70歳以上 (n=294)	9.5%	32.7%	35.0%	14.3%	708.5%

図表 魅力を高めるために必要なもの



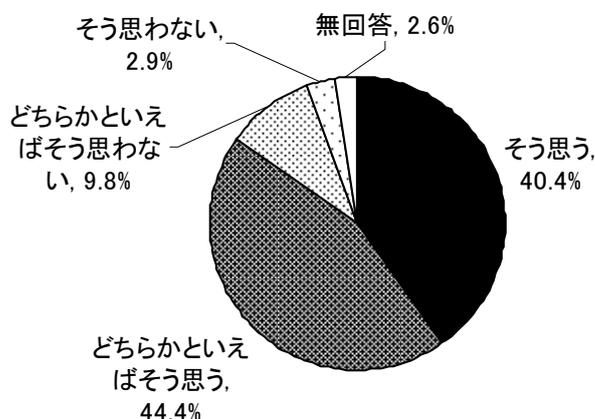
問 21) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

<全体 (n=1,276) >

○「そう思う」は 40.4%、「どちらかといえばそう思う」は 44.4%であり、合計すると 8割以上となっています。

○年齢層別に見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、30歳代が9割を超えており、他の年齢層でも、20歳代以外で8割を超えています。

図表 深大寺周辺の景観に対する意識



図表 年齢層別の中心市街地の魅力

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	40.0%	40.0%	13.3%	3.3%
	20～29歳 (n=99)	40.4%	37.4%	17.2%	5.1%
	30～39歳 (n=190)	44.7%	46.8%	6.3%	1.1%
	40～49歳 (n=246)	41.1%	47.2%	9.3%	1.6%
	50～59歳 (n=190)	38.9%	47.4%	7.4%	3.7%
	60～69歳 (n=223)	39.5%	43.5%	7.6%	4.5%
	70歳以上 (n=294)	38.8%	41.8%	12.6%	2.7%

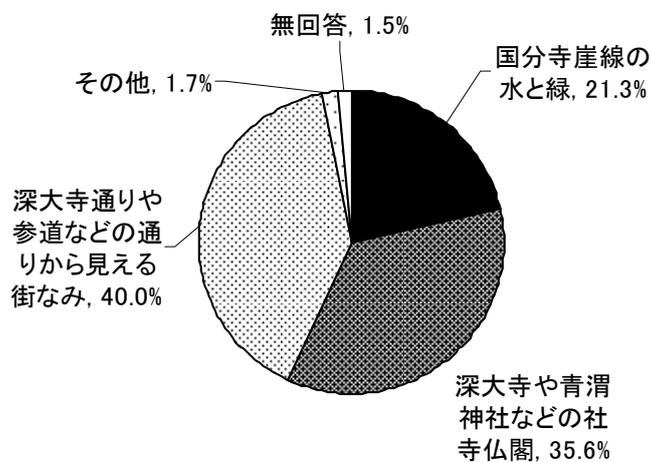
第2章 調査結果 <「日ごろの意識や行動」について>

問 22) 問 21 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」のいずれかを選んだ方に伺います。特に優れていると思う景観はどこですか。

<全体 (n=1,081) >

- 「深大寺通りや参道などの通りから見える街並み」が 40.0%と最も多くなっています。
- 次いで、「深大寺や青渭神社などの社寺仏閣」が 35.6%、「国分寺崖線の水と緑」が 21.3%の順となっています。

図表 特に優れていると思う景観

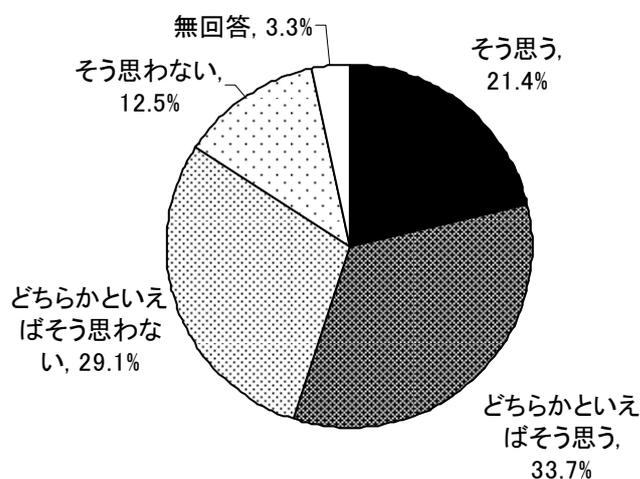


問 23) あなたが普段利用する市内の駅周辺は、利便性が高いと思いますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「そう思う」が 21.4%、「どちらかといえばそう思う」が 33.7%であり、合計すると 55.1%で、半数を上回っています。
- 男女別に見ると、女性より男性の方が、利便性が高いと思う傾向にあります。
- 年齢層別に見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は 20 歳代以下で 6 割となっており、40 歳代以外の全ての年齢層で 5 割を超えています。

図表 市内駅周辺の利便性に対する意識



図表 男女別の市内駅周辺の利便性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
性別	男性 (n=481)	24.1%	32.4%	29.9%	9.8%
	女性 (n=781)	19.8%	34.3%	28.6%	14.2%

図表 年齢層別の市内駅周辺の利便性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%
	20～29歳 (n=99)	25.3%	42.4%	19.2%	12.1%
	30～39歳 (n=190)	20.5%	34.2%	33.7%	10.5%
	40～49歳 (n=246)	15.4%	34.1%	30.9%	16.7%
	50～59歳 (n=190)	25.3%	29.5%	28.9%	14.7%
	60～69歳 (n=223)	23.3%	29.6%	28.7%	12.6%
	70歳以上 (n=294)	20.7%	36.4%	27.9%	9.5%

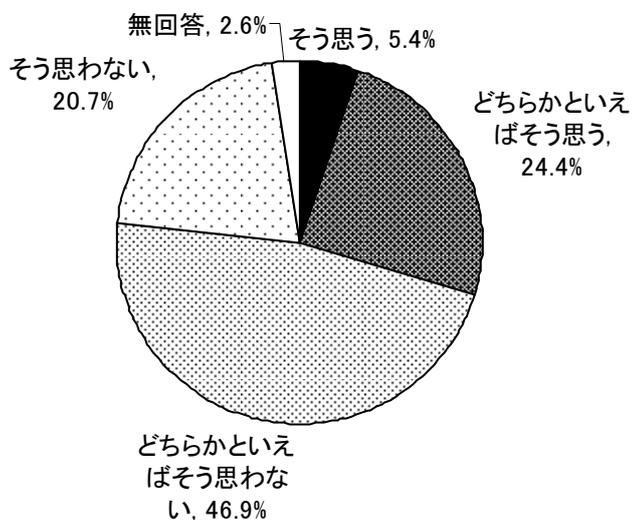
【 道路・交通について 】

問 24) あなたは、普段利用する市内の道路が安全で快適であると思いますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「そう思う」は 5.4%、「どちらかといえばそう思う」が 24.4%であり、合計すると約3割となっています。
- 年齢層別に見ると、30歳代以下及び70歳以上では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が3割を上回っています。
- 地域によって意識に大きな差はありません。

図表 市内道路の安全性に対する意識



図表 男女別の市内道路の安全性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
性別	男性 (n=481)	5.0%	25.2%	48.6%	19.8%
	女性 (n=781)	5.6%	23.8%	46.1%	21.3%

図表 年齢層別の市内道路の安全性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	16.7%	26.7%	50.0%	6.7%
	20～29歳 (n=99)	9.1%	23.2%	39.4%	28.3%
	30～39歳 (n=190)	6.8%	26.8%	44.7%	21.1%
	40～49歳 (n=246)	2.0%	26.0%	52.0%	17.1%
	50～59歳 (n=190)	4.7%	22.6%	48.9%	21.6%
	60～69歳 (n=223)	4.5%	20.2%	51.1%	20.6%
	70歳以上 (n=294)	6.1%	26.2%	42.2%	21.4%

図表 地域別の市内道路の安全性に対する意識

		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
地 域	東部地域 (n=272)	4.8%	25.4%	47.1%	21.3%
	北部地域 (n=297)	6.4%	23.6%	43.8%	23.9%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	9.4%	19.3%	52.0%	17.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	3.1%	27.0%	48.3%	18.9%
	西部地域 (n=237)	4.2%	26.6%	45.1%	20.3%

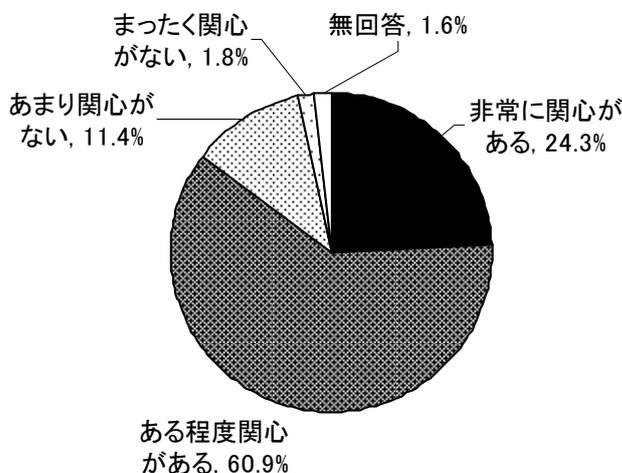
【 人権・男女共同参画について 】

問 25) あなたは、いじめ・虐待・差別などの様々な人権問題について関心がありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「非常に関心がある」は 24.3%、「ある程度関心がある」は 60.9%であり、合計すると8割を上回っています。
- 男女別に見ると、「非常に関心がある」は男性が 20.8%、女性が 26.2%となっており、女性の方が、やや関心が高くなっています。
- 年齢層別に見ると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計は、20歳代以上の全ての年代で8割を超えていますが、70歳以上で9割近くと関心が高くなっています。

図表 人権問題への関心



図表 男女別の人権問題への関心

		非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
性	男性 (n=481)	20.8%	61.3%	13.9%	2.9%
別	女性 (n=781)	26.2%	60.8%	9.9%	1.2%

図表 年齢層別の人権問題への関心

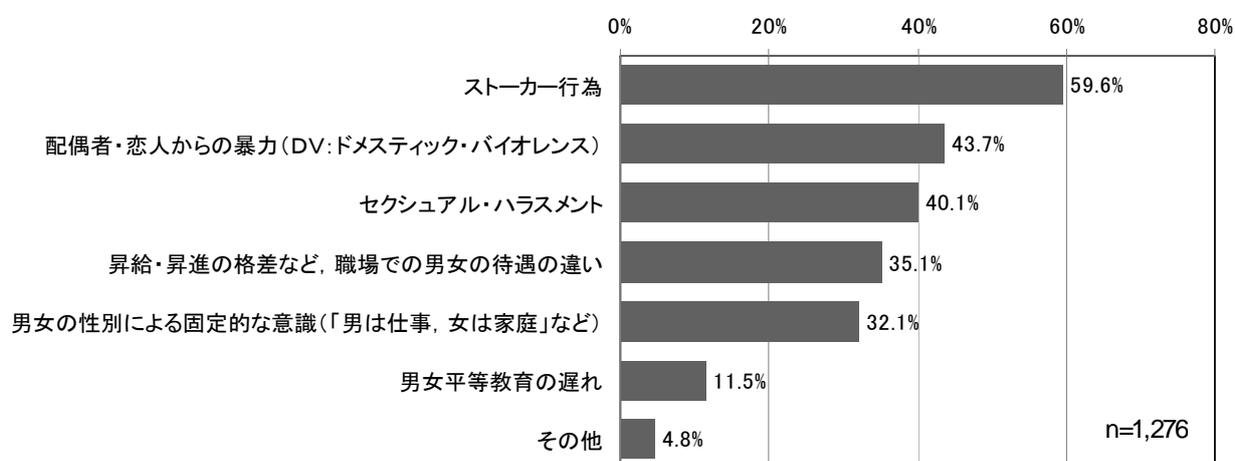
		非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
年齢	16～19歳 (n=30)	16.7%	56.7%	16.7%	10.0%
	20～29歳 (n=99)	23.2%	57.6%	15.2%	4.0%
	30～39歳 (n=190)	24.7%	62.1%	10.0%	2.6%
	40～49歳 (n=246)	20.3%	64.6%	14.6%	0.0%
	50～59歳 (n=190)	18.4%	63.7%	14.2%	1.6%
	60～69歳 (n=223)	24.2%	61.9%	9.9%	2.7%
	70歳以上 (n=294)	32.0%	56.1%	7.5%	0.7%

問 26) あなたは、女性に関することで、人権問題として早期に解決すべきことはどのようなことだと思えますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「ストーカー行為」が 59.6%と最も多く、約6割となっています。
- 次いで、「配偶者・恋人からの暴力 (DV:ドメスティック・バイオレンス)」が 43.7%、「セクシュアル・ハラスメント」が 40.1%となっています。
- 男女別に見ると、男女間の意識の差が「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」で 10.8 ポイント、「男女の性別による固定的な意識 (「男は仕事、女は家庭」など)」で 5.6 ポイントの開きがあります。

図表 人権問題として早期に解決すべきこと



図表 男女別の人権問題として早期に解決すべきこと

		セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	配偶者・恋人からの暴力 (DV:ドメスティック・バイオレンス)	男女の性別による固定的な意識 (「男は仕事、女は家庭」など)	昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い	男女平等教育の遅れ	その他
性別	男性 (n=481)	41.2%	62.6%	41.8%	28.5%	28.5%	11.4%	5.2%
	女性 (n=781)	39.8%	57.7%	45.3%	34.1%	39.3%	11.4%	4.4%

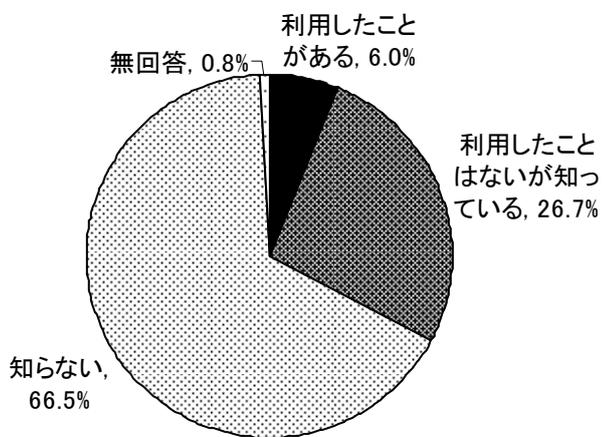
第2章 調査結果 <「日ごろの意識や行動」について>

問 27) あなたは、講座・講演会の開催，女性のための相談，図書貸出など男女共同参画社会実現に向け取り組んでいる調布市男女共同参画推進センターが市民プラザあくろす（国領駅北口コクティ―）内にあることを知っていますか。

<全体（n=1,276）>

- 「利用したことがある」が 6.0%，「利用したことはないが知っている」が合計で3割を上回っています。
- 年齢層別に見ると，概ね年齢が高いほど「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」の合計の割合が高くなる傾向が見られます。

図表 市民プラザあくろすの認知度



図表 年齢層別の市民プラザあくろすの認知度

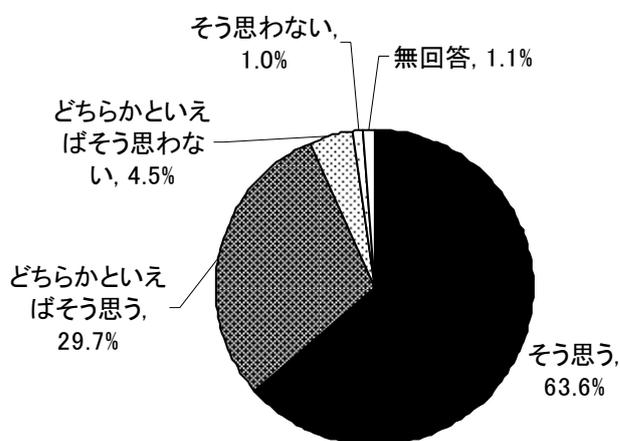
		利用したことがある	利用したことはないが知っている	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	0.0%	10.0%	90.0%
	20～29歳 (n=99)	3.0%	11.1%	85.9%
	30～39歳 (n=190)	5.3%	24.2%	70.5%
	40～49歳 (n=246)	5.7%	27.2%	66.7%
	50～59歳 (n=190)	6.3%	24.2%	68.4%
	60～69歳 (n=223)	4.9%	33.6%	61.0%
	70歳以上 (n=294)	8.8%	31.3%	57.8%

問 28) あなたは、家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

<全体 (n=1, 276) >

- 「そう思う」は 63.6%、「どちらかといえばそう思う」は 29.7%であり、合計すると 9 割を上回っています。
- 男女別に見ると、「そう思う」の割合は、男性が 58.8%、女性が 66.6%と 7.8 ポイントの開きが見られます。
- 年齢層別に見ると、20 歳代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高くなっています。

図表 家庭内での役割に対する意識



図表 男女別の家庭内での役割に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
性	男性 (n=481)	58.8%	32.6%	5.8%	1.7%
別	女性 (n=781)	66.6%	28.0%	3.6%	0.6%

図表 年齢層別の家庭内での役割に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	70.0%	23.3%	6.7%	0.0%
	20～29歳 (n=99)	67.7%	29.3%	2.0%	1.0%
	30～39歳 (n=190)	67.9%	24.7%	5.8%	0.5%
	40～49歳 (n=246)	60.2%	32.5%	4.9%	1.6%
	50～59歳 (n=190)	65.8%	28.4%	4.2%	1.6%
	60～69歳 (n=223)	66.8%	27.4%	3.6%	0.4%
	70歳以上 (n=294)	57.8%	34.4%	4.8%	1.0%

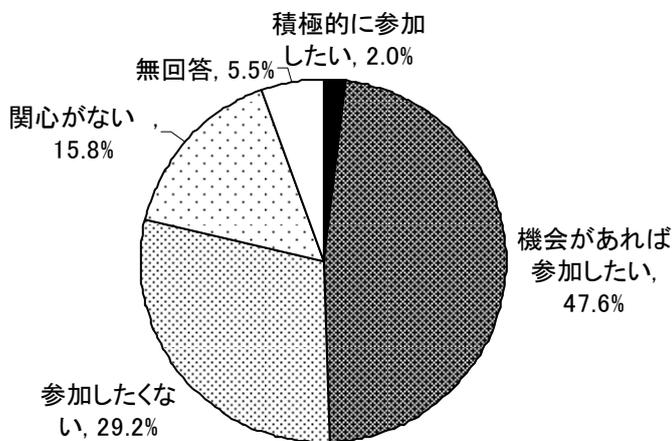
【 参加と協働のまちづくりについて 】

問 29) あなたは今後、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。

<全体 (n=1,276) >

- 「積極的に参加したい」は 2.0%、「機会があれば参加したい」が 47.6%であり、合計すると約半数となっています。
- 男女別に見ると、男性の参加意欲が高い傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、年齢が若いほど「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」割合と「関心がない」割合が高くなっており、まちづくりへの参加意向は二極化する傾向が見られます。

図表 まちづくりへの参加意向



図表 男女別のまちづくりへの参加意向

	積極的に参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない	関心がない
性 男性 (n=481)	2.1%	52.0%	25.2%	16.4%
別 女性 (n=781)	1.8%	44.9%	31.8%	15.4%

図表 年齢層別のまちづくりへの参加意向

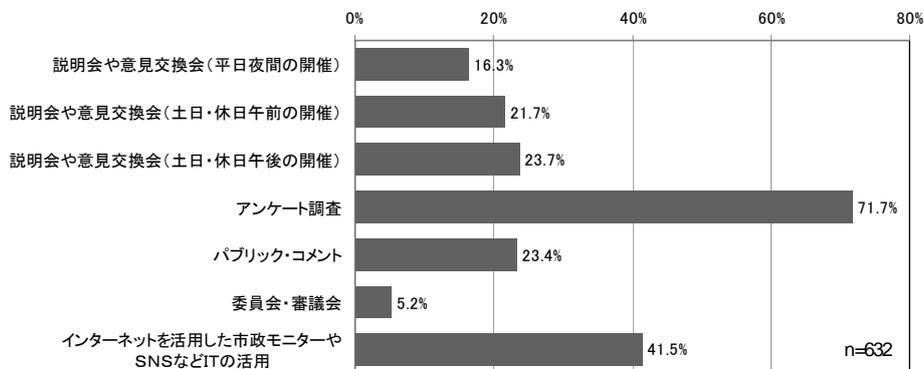
	積極的に参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない	関心がない	
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	53.3%	16.7%	26.7%
	20～29歳 (n=99)	4.0%	52.5%	14.1%	29.3%
	30～39歳 (n=190)	2.6%	51.6%	25.3%	17.9%
	40～49歳 (n=246)	0.8%	55.3%	25.2%	15.4%
	50～59歳 (n=190)	3.2%	47.9%	30.5%	15.3%
	60～69歳 (n=223)	0.9%	45.7%	31.8%	14.3%
	70歳以上 (n=294)	1.7%	37.4%	38.4%	10.9%

問 30) 問 29 で「1 積極的に参加したい」、「2 機会があれば参加したい」を選んだ方にうかがいます。あなたはどのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。(複数回答可)

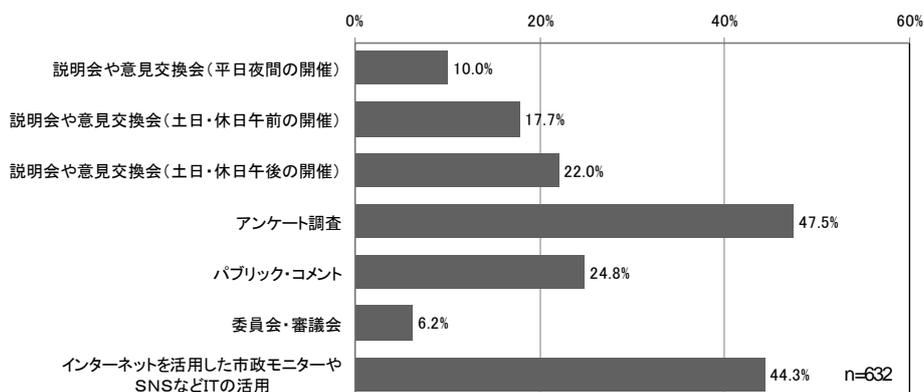
<全体 (n=632) >

- 参加できると思うものについては、「アンケート調査」が 71.7%と最も多く、7割を上回っています。
- 次いで「インターネットを活用した市政モニターや SNS など IT の活用」が 41.5%となっています。
- 一方、「説明会や意見交換会」は時間帯にかかわらず概ね2割前後、「委員会・審議会」は 5.2%となっており、直接的な参加を伴う手法の割合は低い傾向が見られます。
- 参加できると思う手法を年齢層別に見ると、年齢が若いほど「説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)」「アンケート調査」「パブリック・コメント」の割合が高くなる傾向が見られます。
- 参加できると思う手法を男女別に見ると、女性よりも男性の方が、各手法の選択率が高い結果となっています。
- より多くの市民の意見が届きやすいと思うものについて、「アンケート調査」が 47.5%と最も多く、次いで「インターネットを活用した市政モニターや SNS など IT の活用」も 44.3%と4割を上回っています。

図表 参加できると思う手法



図表 より多くの市民の意見が届きやすいと思うもの



図表 男女別の参加できると思う手法

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用
性別 男性 (n=260)	18.8%	26.5%	30.8%	66.9%	25.8%	8.1%	43.8%
性別 女性 (n=365)	14.2%	18.4%	19.2%	75.9%	21.9%	3.0%	40.3%

図表 年齢層別の参加できると思う手法

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用	
年齢	16～19歳 (n=17)	17.6%	0.0%	23.5%	88.2%	35.3%	0.0%	47.1%
	20～29歳 (n=56)	16.1%	25.0%	26.8%	85.7%	37.5%	1.8%	62.5%
	30～39歳 (n=103)	9.7%	22.3%	23.3%	87.4%	26.2%	2.9%	58.3%
	40～49歳 (n=138)	10.1%	24.6%	22.5%	80.4%	26.1%	2.2%	55.1%
	50～59歳 (n=97)	28.9%	19.6%	20.6%	67.0%	26.8%	9.3%	42.3%
	60～69歳 (n=104)	19.2%	24.0%	20.2%	64.4%	11.5%	5.8%	27.9%
	70歳以上 (n=115)	16.5%	19.1%	30.4%	47.8%	17.4%	8.7%	10.4%

図表 男女別のより多くの市民の意見が届きやすいと思うもの

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用
性別 男性 (n=260)	10.4%	21.9%	25.0%	47.7%	24.2%	6.9%	41.9%
性別 女性 (n=365)	9.3%	14.8%	19.7%	47.9%	25.5%	5.5%	46.6%

図表 年齢層別のより多くの市民の意見が届きやすいと思うもの

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用	
年齢	16～19歳 (n=17)	11.8%	23.5%	29.4%	52.9%	41.2%	0.0%	58.8%
	20～29歳 (n=56)	14.3%	25.0%	26.8%	55.4%	39.3%	3.6%	75.0%
	30～39歳 (n=103)	11.7%	19.4%	25.2%	50.5%	28.2%	5.8%	52.4%
	40～49歳 (n=138)	10.1%	21.7%	21.7%	51.4%	24.6%	5.1%	52.9%
	50～59歳 (n=97)	9.3%	13.4%	19.6%	49.5%	24.7%	6.2%	53.6%
	60～69歳 (n=104)	7.7%	24.0%	16.3%	49.0%	20.2%	8.7%	26.0%
	70歳以上 (n=115)	7.8%	5.2%	23.5%	33.0%	17.4%	7.8%	19.1%

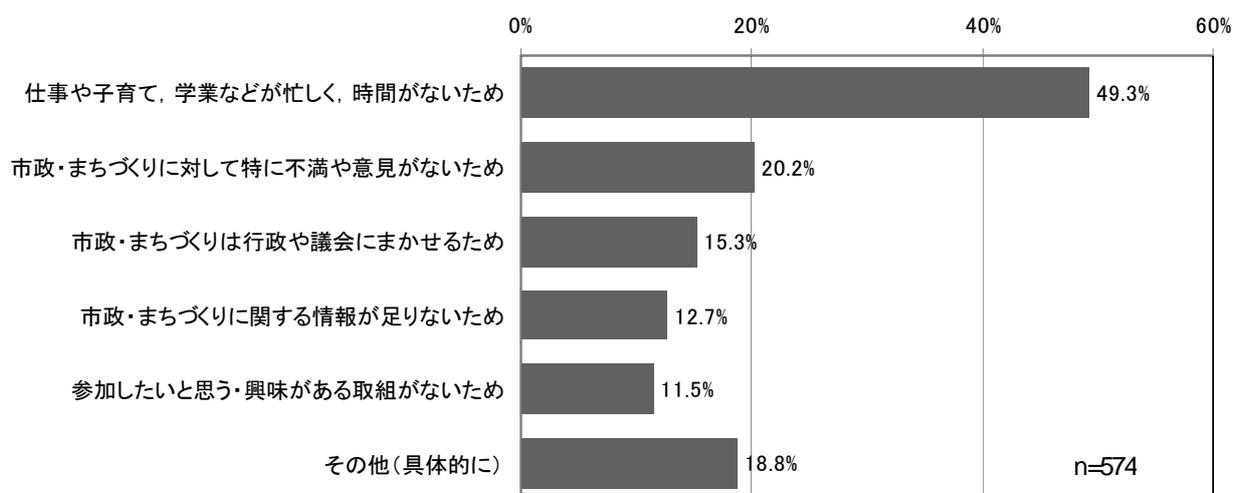
問 31) 問 29 で「参加したくない」、「関心がない」を選んだ方にうかがいます。参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。(複数回答可)

<全体 (n=574) >

○「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため」が 49.3%と最も多く、約 5 割となっています。

○それ以外の選択肢については、いずれも概ね 1～2 割となっており、分散しています。

図表 参加しない・関心がない理由



4 「国民体育大会・オリンピック」について

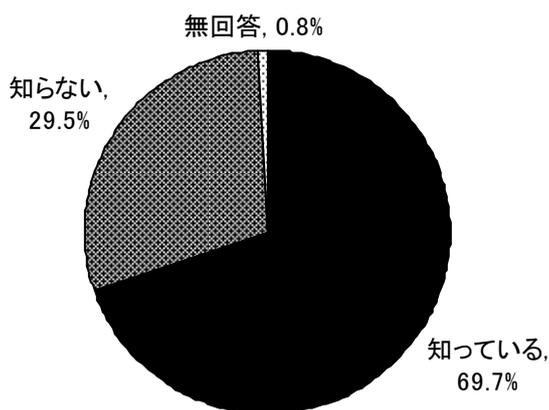
【国民体育大会の開催について】

問 32) あなたは、平成 25 年（2013 年）秋に、味の素スタジアムをメイン会場として「第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会」（スポーツ祭東京 2013）が開催されることを知っていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「知っている」が 69.7%と約 7 割となっています。
- 年齢層別に見ると、「知っている」は 40 歳代を中心に高くなる傾向が見られます。
- 地域別に見ると、「知っている」は南部及び西部地域で 7 割を上回っている一方、北部地域では約 7 割、東部地域では 4 割強となっています。

図表 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催の認知度



図表 年齢層別の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催の認知度

		知っている	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	43.3%	56.7%
	20～29歳 (n=99)	61.6%	38.4%
	30～39歳 (n=190)	71.1%	28.4%
	40～49歳 (n=246)	76.0%	23.2%
	50～59歳 (n=190)	70.5%	29.5%
	60～69歳 (n=223)	68.6%	31.4%
	70歳以上 (n=294)	69.0%	28.6%

図表 地域別の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催の認知度

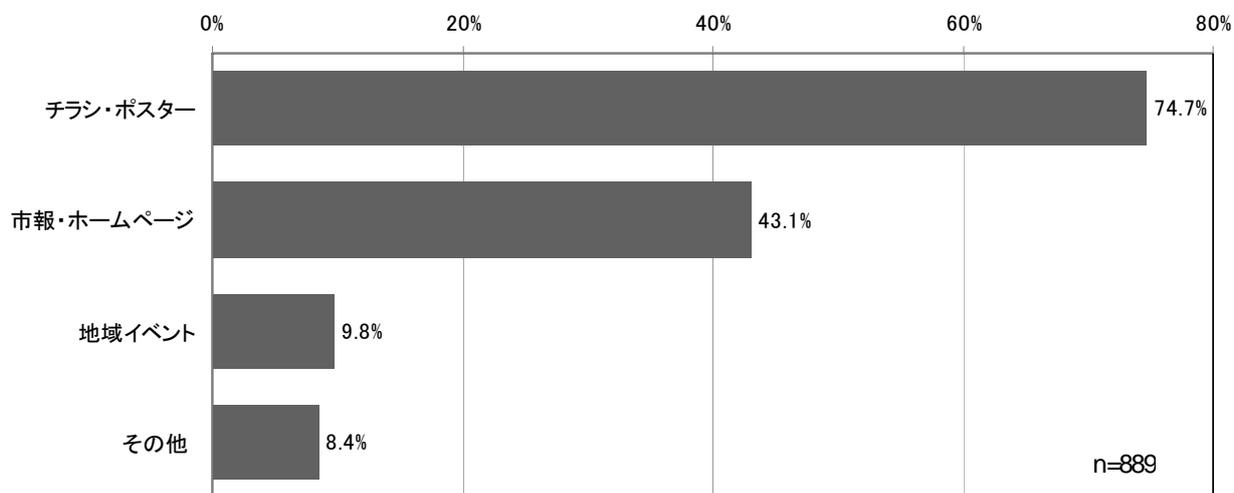
		知っている	知らない
地域	東部地域 (n=272)	61.8%	35.7%
	北部地域 (n=297)	68.0%	31.6%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	76.2%	23.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	73.0%	26.6%
	西部地域 (n=237)	71.7%	28.3%

問33) 問32で「1 知っている」を選んだ方にうかがいます。開催をどのように知りましたか。(複数回答可)

<全体 (n=889) >

- 「チラシ・ポスター」が74.7%と最も多く、7割を上回っています。
- 次いで、「市報・ホームページ」が43.1%となっています。
- 年齢層別に見ると、「市報・ホームページ」は年齢が高いほど高く、逆に「チラシ・ポスター」は年齢が若いほど高くなる傾向が見られます。
- 地域別に見ると、南部地域(中心市街地)では「市報・ホームページ」が他地域と比較して低く、「チラシ・ポスター」が高い結果となっています。

図表 開催を知った経緯



図表 年齢層別の開催を知った経緯

		市報・ホームページ	チラシ・ポスター	地域イベント	その他
年齢	16～19歳 (n=13)	0.0%	92.3%	23.1%	0.0%
	20～29歳 (n=61)	23.0%	90.2%	1.6%	6.6%
	30～39歳 (n=135)	31.1%	79.3%	16.3%	5.9%
	40～49歳 (n=187)	39.0%	83.4%	17.1%	13.4%
	50～59歳 (n=134)	39.6%	73.1%	8.2%	9.0%
	60～69歳 (n=153)	50.3%	71.2%	6.5%	6.5%
	70歳以上 (n=203)	60.1%	61.1%	3.9%	7.9%

図表 地域別の開催を知った経緯

		市報・ホームページ	チラシ・ポスター	地域イベント	その他
地域	東部地域 (n=168)	42.3%	74.4%	10.7%	6.5%
	北部地域 (n=202)	42.6%	69.8%	7.4%	11.9%
	南部地域(中心市街地) (n=154)	37.7%	78.6%	11.0%	5.2%
	南部地域(中心市街地以外) (n=189)	47.6%	74.6%	9.5%	11.6%
	西部地域 (n=170)	43.5%	77.6%	11.2%	5.9%

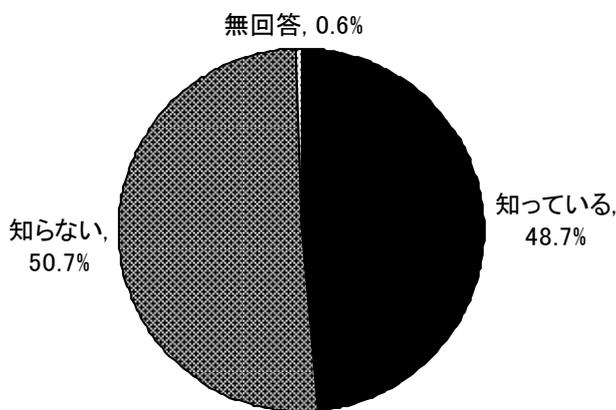
【 2020 年東京オリンピック招致について 】

問 34) あなたは、東京都が行っている 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致活動において、東京スタジアム（味の素スタジアム）が競技会場の候補となっていることを知っていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「知っている」が 48.7%で5割近くとなっています。
- 年齢層別に見ると、概ね年齢が高いほど「知っている」割合が高くなる傾向が見られます。

図表 競技会場候補であることの認知度



図表 年齢層別の競技会場候補であることの認知度

		知っている	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	30.0%	70.0%
	20～29歳 (n=99)	35.4%	64.6%
	30～39歳 (n=190)	48.9%	50.5%
	40～49歳 (n=246)	46.7%	52.0%
	50～59歳 (n=190)	51.1%	48.9%
	60～69歳 (n=223)	51.6%	48.4%
	70歳以上 (n=294)	52.7%	45.9%

図表 地域別の競技会場候補であることの認知度

		知っている	知らない
地域	東部地域 (n=272)	47.1%	51.5%
	北部地域 (n=297)	50.2%	49.5%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	46.0%	54.0%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	51.7%	47.9%
	西部地域 (n=237)	47.7%	51.9%

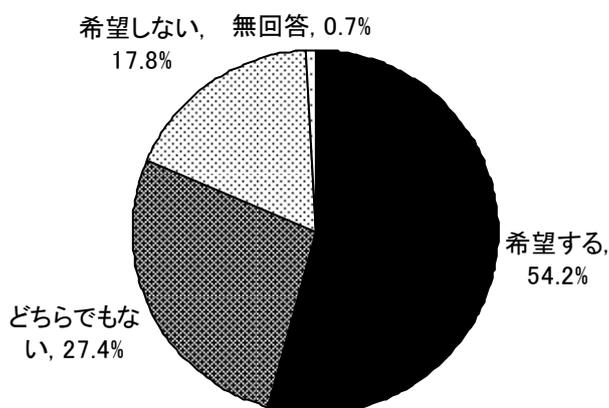
問 35) あなたは、2020年オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催されることを希望しますか。

<全体 (n=1,276) >

○「希望する」は 54.2%、「どちらでもない」は 27.4%、「希望しない」は 17.8%となっています。

○年齢層別に見ると、20～40歳代で開催を希望する割合が比較的高い傾向が見られます。

図表 オリンピック・パラリンピック大会の開催希望



図表 年齢層別のオリンピック・パラリンピック大会の開催希望

		希望する	どちらでもない	希望しない
年齢	16～19歳 (n=30)	46.7%	33.3%	20.0%
	20～29歳 (n=99)	60.6%	23.2%	16.2%
	30～39歳 (n=190)	59.5%	19.5%	20.5%
	40～49歳 (n=246)	56.5%	27.2%	15.4%
	50～59歳 (n=190)	50.5%	28.9%	19.5%
	60～69歳 (n=223)	52.5%	29.1%	18.4%
	70歳以上 (n=294)	51.0%	31.0%	16.7%

図表 地域別のオリンピック・パラリンピック大会の開催希望

		希望する	どちらでもない	希望しない
地域	東部地域 (n=272)	55.5%	26.1%	16.5%
	北部地域 (n=297)	55.2%	29.0%	15.8%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	51.0%	26.7%	21.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	51.4%	26.3%	22.0%
	西部地域 (n=237)	57.0%	29.1%	13.9%

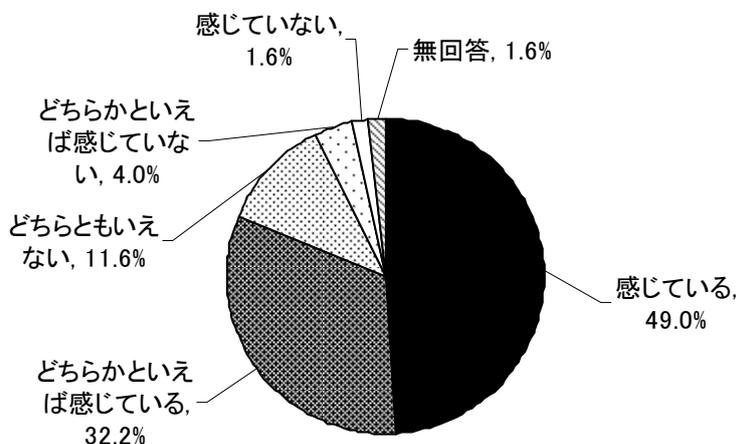
5 「調布のまちへの愛着・親しみ」について

問 45) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「感じている」は49.0%、「どちらかといえば感じている」は32.2%であり、合計すると8割以上となっています。
- 年齢層別に見ると、30歳代及び60歳代以上で「感じている」とする割合が半数以上となっています。
- 地域別に見ると、「感じている」とする割合は南部地域で比較的高くなっています。

図表 まちに対する親しみや愛着



図表 年齢層別のまちに対する親しみや愛着

		感じている	どちらかといえば感じている	どちらともいえない	どちらかといえば感じていない	感じていない
年齢	16～19歳 (n=30)	40.0%	36.7%	10.0%	6.7%	6.7%
	20～29歳 (n=99)	46.5%	30.3%	18.2%	3.0%	1.0%
	30～39歳 (n=190)	50.0%	33.7%	10.5%	4.7%	1.1%
	40～49歳 (n=246)	43.9%	38.2%	11.4%	4.5%	1.2%
	50～59歳 (n=190)	47.9%	34.2%	11.1%	3.7%	1.6%
	60～69歳 (n=223)	53.4%	27.8%	12.1%	3.1%	1.3%
	70歳以上 (n=294)	52.4%	28.9%	10.2%	4.1%	2.0%

図表 地域別のまちに対する親しみや愛着

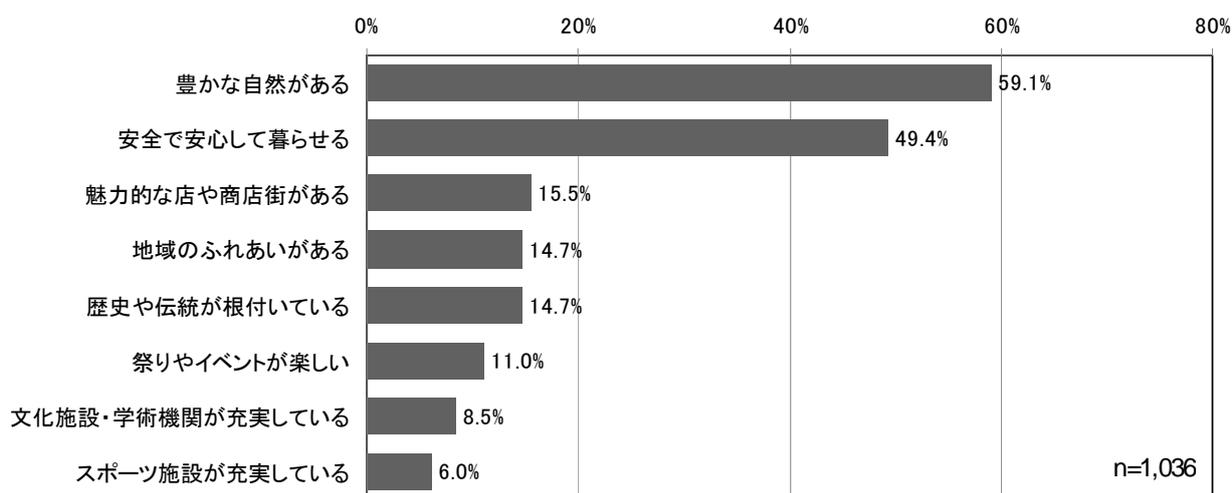
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらともいえない	どちらかといえば感じていない	感じていない
地域	東部地域 (n=272)	46.3%	37.1%	9.6%	4.0%	1.8%
	北部地域 (n=297)	49.2%	33.0%	10.4%	5.4%	1.7%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	54.5%	28.2%	11.4%	4.5%	0.5%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	52.1%	31.3%	12.0%	1.9%	0.4%
	西部地域 (n=237)	44.7%	30.8%	14.8%	4.2%	3.4%

問 46) 問 45 で「1～2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたが、調布のまちに親しみや愛着を感じている理由はなんですか。(複数回答可)

<全体 (n=1,036) >

- 「豊かな自然がある」が 59.1%と最も高く約6割、次いで「安全で安心して暮らせる」が 49.4%と約半数となっています。
- 年齢層別に見ると、「豊かな自然がある」や「文化施設・学術機関が充実している」は年齢が高くなるにつれて多くなる傾向が見られます。
- 20歳代では「魅力的な店や商店街がある」の割合が 35.5%と高くなっています。
- 地域別に見ると、北部地域では「豊かな自然がある」(86.9%)や「歴史や伝統が根付いている」(26.6%)の割合が他地区と比較して高くなっています。
- また、東部地域では「魅力的な店や商店街がある」(37.9%)の割合が他地域と比較して高くなっています。

図表 親しみや愛着を感じる理由



図表 年齢層別のまちに対する親しみや愛着

		安全で安心して暮らせる	地域のふれあいがある	祭りやイベントが楽しい	歴史や伝統が根付いている	豊かな自然がある	魅力的な店や商店街がある	スポーツ施設が充実している	文化施設・学術機関が充実している
年齢	16～19歳 (n=23)	60.9%	13.0%	13.0%	4.3%	47.8%	21.7%	4.3%	0.0%
	20～29歳 (n=76)	63.2%	10.5%	13.2%	13.2%	48.7%	35.5%	6.6%	6.6%
	30～39歳 (n=159)	53.5%	15.7%	15.1%	19.5%	71.1%	20.1%	7.5%	5.7%
	40～49歳 (n=202)	59.4%	18.8%	17.8%	14.9%	64.9%	21.3%	8.9%	8.9%
	50～59歳 (n=156)	59.6%	17.3%	12.2%	23.1%	80.1%	16.7%	5.1%	9.6%
	60～69歳 (n=181)	63.0%	17.7%	11.0%	19.9%	81.2%	16.6%	8.3%	14.9%
	70歳以上 (n=239)	65.3%	23.0%	11.7%	18.4%	79.5%	14.6%	7.5%	14.2%

図表 地域別のまちに対する親しみや愛着

		安全で安心して暮らせる	地域のふれあいがある	祭りやイベントが楽しい	歴史や伝統が根付いている	豊かな自然がある	魅力的な店や商店街がある	スポーツ施設が充実している	文化施設・学術機関が充実している
地域	東部地域 (n=227)	62.1%	19.4%	10.1%	14.1%	65.6%	37.9%	6.2%	9.7%
	北部地域 (n=244)	57.8%	17.6%	14.3%	26.6%	86.9%	9.8%	9.0%	7.4%
	南部地域(中心市街地) (n=167)	63.5%	15.6%	12.0%	14.4%	61.1%	19.2%	7.8%	10.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=216)	57.9%	17.6%	19.9%	17.6%	74.5%	14.8%	6.5%	12.5%
	西部地域 (n=179)	64.2%	20.1%	10.1%	15.1%	71.5%	13.4%	7.8%	12.8%

